



平成29年度東筑会総会・懇親会を担当 全国より集合した当番期87期 総勢125名

「歴史と伝統：一一九年」



東筑会会長

高山 和幸

(56期)

東筑会会員の皆様には日頃から東筑会のために、ご協力ご支援を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

今夏は、猛暑の中に気分爽快でした。

母校東筑野球部の甲子園での活躍に大いなる感激を味わうことができました。強豪並みいる県大会において、四人目の伝説の石田投手(117期)らの活躍で、21年ぶり6度目の甲子園出場に大いに沸きました。同窓の皆様には物心両面に多大なるご支援を頂きましたことに厚くお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

母校東筑は、来年度に創立百二十周年を迎えます。記念行事等につきましては、学校・PTA・東筑会の三者会にて準備を進めているところです。明治31年6月、県費支出による第1号の県立東筑中学校として飯塚仮校舎において開校、同35年四通八達の地折尾に本校舎竣工移転しました。太平洋戦争後の昭和23年、新学制により県立東筑高等学校となり、翌年に東筑・折尾・八幡商業の3校統合、昭和31年に東筑(普通科)、折尾(商業・家

庭科)の2校分離独立高校になり現在に至っています。母校東筑は時代の変遷とともに119年の歴史と伝統に支えられ発展しています。

東筑生の志を高く掲げ、日々努力による進路実現と多くの部活動の活躍は校是である「文武両道」の具現であり、東筑ここにあり、と同窓生の誇りでもあります。母校の教育活動の充実、発展に同窓の皆様のご協力ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成29年度の東筑会総会・懇親会には、全国より皆様のご出席を頂きまして盛大かつ有意義に開催されました。一年に一度の機会ながら大いに交流親睦を深められたことと存じます。衷心よりお慶び申し上げます。当番期87期の皆様には諸準備ならびに運営のご苦勞に對しまして感謝を申し上げます。来年度当番期88期の皆様には諸準備等よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校東筑の益々の発展と東筑会会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

文質彬彬として、然る後に君子なり

学校長 中 島 良 博



東筑会会員の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校に御支援御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私は、前任の花岡俊彦校長の御退任に伴い本年4月着任いたしました。76期の同窓でもあります。母校に奉職するという光栄を得て恐れ多い気持ちですが、誠心誠意本校の発展に寄与してまいれる所存ですのでどうかよろしくお願いいたします。

さて、本校は「文武両道」「質実剛健」を校是として掲げていますが、その「文」と「武」が組み合わさった「斌」という文字があることを先頃知りました。大漢和辞典等によれば「人為的に洗練されたものと、素質的に持っているものが調和して美しいこと」を意味する文字で、「彬」という文字と意味的に通じているとされています。

「学問と武芸等の特技の錬磨を一体化させること」を意味する本校校是の「文武両道」とだけにつき合せると意味は少々異なるのかもしれませんが、「虚飾を排し、心身を鍛え、内なる精神を高めること」によって、身も心も強健であること」を意味する「質実剛健」と併せて考えると本校の校是と趣旨としては通底している文字だと言えるのではないのでしょうか。

【論語】の雍也編には

文質彬彬（ひんびん）、然後君子。

（文質彬彬（ひんびん）として、然る後に君子なり。）とあります。

校是に従い、うわべの艶やかさだけを繕うことなく、内面の充実を図る人となるよう、東筑生達の素地を鍛えてまいりたいと思います。

その東筑生達ですが、日頃から自由闊達に学校生活を送り、様々な場面で躍動しております。

部活動では囲碁部、将棋部、生物部、ボート部、ラグビー部（女子・個人）が全国大会へ出場権を得て大会での上位進出を期しています。九州大会に柔道部、相撲部、水泳部、山岳部が出場しました。

中でも御案内のとおり野球部が21年ぶり6回目となる第99回全国高等学校野球選手権の出場を果たし、同窓諸氏をはじめ、折尾の街の皆様にも大変喜んでいただけました。

一方、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業も指定5年目を迎え、成果をまとめる年となりましたが、東筑奨学会等からの御支援をいただきさらに充実したものとなっております。7月には文部科学省からの視察があり、論理的思考力、表現力を身につけさせることを目的としたプログラム「論理コミュニケーション」についてはその独自性を高く評価していただき、その手法は全国に広めるべき「東筑スタンダード」であると高く評価していただいたところ です。

そして来年度、本校は百二十周年を迎えます。現在実行委員会が様々な企画が進められています。本校もこの周年行事を機に、より一層の飛躍を果たしたいと思っておりますので、今後とも東筑会の皆様には本校の御支援よろしくお願いいたします。

東筑OBの活躍

山領 夏実さん（108期）

ボートW杯に出場

本校108期山領夏実さんが2017年度のボート日本代表に選ばれ、2017年7月に、スイス・ルツェルンで行われたボートワールドカップに出場しました。山領選手は東筑高校卒業後熊本大学に進学しボート競技を続け大学4年次には国体優勝、そしてその後実業団の強豪であるデンソーに入社して全日本選手権等に出場しながら今シーズンは日本代表選考会に挑戦していき、2020年東京オリンピックも視野に入れており、今後大いに活躍してほしいと思います。



平成29年度 総会報告

東筑高等学校同窓会の総会・懇親会が平成29年6月10日(土)北九州八幡ロイヤルホテルにて開催されました。

総会は15時より万葉の間にて開催されました。開会の辞に続き、高山会長、中島校長が挨拶され、ご来賓を代表して三原相談役よりお祝いの言葉を頂戴いたしました。

その後、高山会長が議長に選出され、議案の審議となり、平成28年度の事業報告、収支決算報告、監査報告及び平成29年度事業計画、収支予算案が異議なく承認されました。また、平田幹事長より120周年記念行事に向けてのご報告があり、ひのくに東筑会の大庭会長より熊本地震の義援金に対するお礼が述べられました。

総会終了後の16時からロイヤルホールにて懇親会が催されました。当番期のオペラ歌手手嶋眞佐子氏による校歌独唱により荘厳な雰囲気の中で幕を開けた懇親会では「伝統の継承」此処に確かめん東筑の絆のテーマのもと、全国各地から集合した1,200人を超える同窓生が旧交をあため懇親を深めました。ラグビー全国大会出場当時の高校の風景なども上映され大いに盛り上がり、来年の高校創立120周年記念に弾みをつける懇親会となりました。

平成29年度事業計画

会則第2条(本会の目的)達成のため、平成29年度は下記の事業を行う。

- ① 母校発展のため、教職員・生徒・父母との密接な連携、グローバルシニアズ研修、国内シニアズ研修の支援、卒業生による講演会の講師協力、図書館の充実
- ② 各地区東筑会との連携強化
- ③ 組織網の強化(組織委員会)
- ④ 年会費の納入促進(財務委員会)
- ⑤ 東筑会報(第38号)の発行(会報委員会)
- ⑥ 東筑会館史料展示室の整備

平成29年度 一般会計予算書

(収 入) 自 平成29年5月1日 至 平成30年4月30日

費 目	予 算	備 考
繰 越 金	2,394,250	
入 会 金	4,608,000	4,800 × 960人(116・117・118期)
会 費	6,400,000	2,000 × 3,200人
雑 収 入	30,000	預金利息 他
計	13,432,250	

(支 出)

費 目	予 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期(88期)へ
会 議 費	150,000	議案書、各種議案内状等
記 念 品 費	200,000	卒業証書入れ(アルバム式)
会 報 費	3,400,000	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	450,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 費 交 通 費	130,000	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	90,000	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	910,000	電話・電気料、通信費、プロバイダ料、コピー機リース料、事務室使用料、HPサーバー料
振 替 手 数 料	350,000	会費振込手数料
賃 金	1,650,000	事務局員
教 育 振 興 費	2,100,000	母校教育振興・定期野球大会・シニアズ研修補助金・図書館の充実
120周年事業費引当金	1,500,000	記念式典費用
基 本 金	1,500,000	基本金会計へ
予 備 費	2,250	
計	13,432,250	

平成28年度 東筑会会計監査報告

東筑会会長 高山 和 幸 殿
このことについて、下記の通り報告します。

記

平成28年度「東筑会一般会計」「東筑会基本金会計」について、出納簿・証拠書類等を精査、照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成29年5月15日

会計監査 矢野 定 延 ㊞
会計監査 井 玉 光 徳 ㊞

平成28年度 一般会計決算書

(収 入) 自 平成28年5月1日 至 平成29年4月30日

費 目	決 算	備 考
繰 越 金	2,582,099	
入 会 金	4,704,000	4,800 × 995人(115・116・117期)
会 費	1,839,000	休転退学15名 2,000 × 914人・1,000 × 3人 4,000 × 2人
基本金より	3,000,000	
雑 収 入	567,250	会員名簿等 86期より529,758円 預金利息 他
計	12,692,349	

(支 出)

費 目	決 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期(87期)へ
会 議 費	107,492	議案書、各種議案内状等
記 念 品 費	200,448	卒業証書入れ(アルバム式)
会 報 費	3,414,420	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	273,024	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 費 交 通 費	117,400	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	429,920	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	917,190	電話・電気料、通信費、プロバイダ料、コピー機リース料、事務室使用料、HPサーバー料、コピー機トナー
振 替 手 数 料	99,374	会費振込手数料
賃 金	1,650,000	事務局
教 育 振 興 費	2,088,831	母校教育振興・定期野球大会・生徒派遣補助金・校庭、図書館の充実
基 本 金 予 備 費	0	
計	10,298,099	
差し引き残高	2,394,250	次年度へ繰越金

平成28年度 基本金会計決算書

(収 入) 自 平成28年5月1日 至 平成29年4月30日

費 目	金 額	備 考
繰 越 金	22,618,148	
繰 入 金	-3,000,000	一般会計へ
雑 収 入	4,066	4,390(預金利息)-324(残高証明書)
計	19,622,214	次年度へ繰越

当番期を終えて

去る6月10日の同窓会総会・懇親会におきましては、東筑高等学校をはじめ、東筑会など、多くの皆様のお力添えにより、無事盛会に終えることが出来ましたことを厚く御礼申し上げます。併せて、私も当番期の活動を温かく見守っていただき、また、多くの励ましのお言葉を頂戴しましたこと、深く感謝申し上げます。

卒業以来、25年以上の時を超えた再会、また、在学中は互いに知り合うことの無かった友との新たな出会いを経て、当番期を務めましたこの1年間の活動は、我々87期にとり、大変、貴重な体験となりました。地域東筑会では、地元はもちろん速くであっても変わら

当番期を迎えて

2017年6月10日、東筑会懇親会の席上、皆様方の前におきまして、私も88期一同は、87期の先輩方より伝統の「当番期の襷」を引き継ぎ、ここに当番期の大役を迎えることとなりました。また来年は、母校東筑高校が120周年を迎える節目の年でもあり、88期一同、この記念すべき年に当番期をさせていただきますことに、甚深なる感謝の思いとともに、今からすでに言葉に出来ないほどの緊張と重圧を感じております。

母校東筑はこれまで「120年間の間、この学び舎で「学問の素地」と「人生の基礎」と「真実の友情」を学んだすべての同窓の方々の人

ぬ母校への熱い想いに触れました。ゴルフ大会では、真剣なまなざしで友との時間を楽しむ姿に変わらぬ同窓の絆を、また、懇親会では、世代を超えて心一つに斉唱する校歌に伝統の誇りを感じました。

そして、東筑会入会式・卒業式・入学式といった学校行事に参加させていただき、東筑高校の今を生きた後輩たちに脈々と受け継がれている東筑の魂を目の当たりにし、改めて身の引き締まる思いがしました。

当番期を終えた夏、甲子園という最高の晴れ舞台に再び私たちを連れて行ってくれた母校東筑高校。遠く現役時代の甲子園の夏を重ね、未だ、興奮は冷めません。これまで

87期会長 船元 幸徳

でに無く、日々、母校東筑高校を想い、関わり、東筑の偉大な伝統を感じる事ができた1年間でした。改めて、この当番期という機会を与えていただき、心から感謝申し上げます。

これからも、当番期を終えた最年少の同窓として、微力ではありますが、「伝統の継承」のテーマのごとく、東筑高校の歴史と伝統を継承していく役割を担っていくとともに、この当番期を新しいスタートとして先輩たちのような同期の絆を深めていきたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございます。

88期会長 柴田 泰山

生をやさしく、そして静かに見守り続け、またこれから東筑をあとに世界へと羽ばたいていく同窓の人生を見守り続けていく存在です。すべての同窓生が東筑とともに生きてきたように、東筑もまたすべての同窓生とともに生きてきました。この東筑120年の歴史とともに振り返り、そしてともに寿ぐことで、東筑高校が悠久の時の中でこの無二なる伝統を伝えることを祈り、そして同窓生すべてが東筑に見守られる中、一日一日が自らの生きる勇氣と生きる意志で満たされた人生を送ることを、誇り高き母校東筑に誓うことかと存じ

上げます。

私も88期一同、若輩にして浅学非才の身ではございますが、これから一年間をかけて誠心誠意に準備をさせていただき、皆様の満面の笑みと母校を想うあたたかい気持ちにつつまれた東筑高校120周年の懇親会とさせていただきますだけにと存じます。

また全国各地の東筑会にお伺いし、同じ学び舎にて学んだことが、今となつては人生の至高の宝であることを共感させていただければと存じます。

どうぞ今後とも、私も東筑高校88期に親しくご指導ならびにご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆ 第34回 東筑会ゴルフ大会成績 ◆

第34回東筑ゴルフ大会が平成29年5月12日(金)に宮若市にあるザ・クラシックゴルフ倶楽部にて総勢216名の皆さまのご参加の下、開催されました。

当番期委員を中心にアカペラの校歌斉唱で幕を開けた大会ですが、途中、強い雷雨に見舞われるなど厳しいコンディション下でのプレーとなりました。

そのような中でも、実力を遺憾なく発揮し団体優勝したのは67期の皆さまでした。同期参加者上位ネットスコア2918をたたき出したのは吉村恭典、土橋俊一、田中伸志、田中哲司(敬称略)の各選手で、同窓会懇親会において代表者に優勝旗が授与されました。これに続き、準優勝が62期、僅差で3位が64期という結果となりました。

この他、個人優勝がレディース、グ

ランドシニア、シニア、一般の各部門にて、また、ドラコン賞、ニアピン賞が各部門で選ばれました。(敬称略)

その他の成績は次のとおりです。

個人の部

●グランドシニアの部

優勝 野見山英治 (58期)
準優勝 上田 進 (57期)
3位 安高 直彦 (62期)

●シニアの部

優勝 中澤誠二郎 (71期)
準優勝 吉村 恭典 (67期)
3位 平井 忠義 (63期)

●一般の部

優勝 國廣 洋一 (74期)
準優勝 村上 陽一 (77期)
3位 福田 真司 (80期)

●レディースの部

優勝 菊次 幸代 (64期)
準優勝 中澤 陽子 (69期)
3位 小川三穂子 (58期)

今回も同期同士表彰式を行うなど卒業生は懇親を深め、無事に事故等なく終了した良い大会でした。次回の創立120周年記念大会に向け、同期同士、さらに切磋琢磨し実力を蓄えることでしょう。

88期東筑会ゴルフ大会委員長 竹下通人



団体優勝の67期の皆さま

組織網の強化をめざして

組織委員長 日高教夫(64期)

後輩が21年ぶりに8回目の甲子園出場という快挙をやってくれました。全国から集まった大勢の東筑同窓生達、今年の夏は本当にうれしかったですね。

残念ながら一回戦で敗れましたがすばらしい試合でした。あの時雨さえ、故郷を離れひさしぶりに母校の名前を聞き青春時代に戻ったことと思います。

たまたま東筑会のホームページを開いて下さい。そして同級生と連絡を取って若い時代にもどりませんか？

地域東筑会を活発に！
地域に根ざした各地の東筑会活動こそ、他校と違った強みがあり、120年余りの伝統です。一度各地の東筑会に参加してみても、いかがでしょうか？

各期幹事さんにお願ひです。同期生の住所の把握に努めて下さい。事務局に新しい住所を教えてください。

組織委員会のメンバーは副委員長に吉松秀雄(78期)、委員に竹内子(76期)、松尾康徳(84期)、三原朝利(94期)です。5名で今年度もがんばって行きます。よろしく！

「活力があり、読みやすい『東筑会報』の紙面しつくりをめざして

会報委員長 青野元昭(70期)

東筑会関係の皆様には、会報の内容の充実のために、多くの投稿をいただいていることに、いつも感謝しています。

今年の母校東筑高校野球部の21年ぶりの甲子園大会出場に象徴されるように、「本気の文武両道・本気の東筑魂」というスローガンのもと、東筑の伝統である文武両道がしっかりと受け継がれています。その現在の東筑高校の様子から、東筑会の組織、各地区からの活動状況、各期だより等を提供しています。年々投稿数も増えてきており、東筑会同窓の深い絆を感じているところです。

会報委員会のメンバーは、私その他、貞末敏郎(57期)、柳本昭子(76期)、石井紀子(81期)です。皆様方に東筑会の活力を感じていただき、また、読みやすい紙面になりますように、4名で協力していきたいと思っています。ご支援の程、よろしくお願ひいたします。

会費しつくり

財務委員長 三宅正輝(71期)

会費納入について引き続き検討中
東筑会の安定かつ円滑な運営のために、経済基盤、特に会費の重要性は申すまでもありません。

しかし現実には会費の納入者数は減少し、納入者率も20%を切り、その結果、毎年80万円前後の赤字を計上し基本金から繰り入れていく現状です。

高山会長の諮問を受け、本委員会では「終身会員(会費)の創設」を念頭に置いて引き続き検討中です。

今年の東筑会の総会で、場内から「会費を値上げしたら」という私にとって、ありがたいご提案を頂きました。

それを踏まえ、改めて検討を重ねて行きたいと考えております。重要かつ難問のためすぐには結論が出せない状況です。いましばらくお時間を頂戴いたしたく存じます。

東筑会の運営のために、会費納入について会員の皆様方のあと少し、あと少しのご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、本委員会のメンバーは、私その他、副委員長の林君(71期)、委員には内和さん(70期)、佐々木さん(71期)、加来君(79期)の4氏です。

平成27・28年度

年会費納入状況

平成29年4月30日現在

期	27年度		28年度		期	27年度		28年度		期	27年度		28年度	
	人数	金額	人数	金額		人数	金額	人数	金額		人数	金額	人数	金額
28	1		49	81	14	70	61	11	91	16	2			
29			50	100	20	71	57	20	92	21	7	7		
30			51	103	19	72	57	21	93	16	7	7		
31			52	81	17	73	65	16	94	15	4	4		
32	1		53	100	15	74	53	17	95	16	7	5		
33			54	112	29	75	39	22	96	11	5	5		
34			55	85	20	76	55	16	97	10	6	6		
35	3		56	120	31	77	51	12	98	20	9	9		
36	1		57	126	21	78	40	10	99	21	4	4		
37	3	1	58	110	30	79	33	35	100	11	6	6		
38		1	59	114	32	80	27	11	101	19	8	8		
39	6	3	60	96	26	81	47	11	102	20	6	6		
40	10	2	61	56	23	82	52	14	103	23	5	5		
41	2		62	81	16	83	27	10						
42	16	1	63	112	32	84	36	14						
43	8		64	83	21	85	49	13						
44	18	3	65	83	32	86	37	10						
45	17	4	66	81	25	87	17	27						
46	22	5	67	70	18	88	33	13						
47	18	5	68	74	15	89	16	9						
48	38	11	69	86	26	90	12	13						
計										3,201		919		

○平成23・24年度納入4,412人 ○平成25・26年度納入4,266人
○平成30年度より104期生の年会費納入が開始されます。

母校合格近況

平成29年度合格者

大学	人数	大学	人数	大学	人数	大学	人数
国立大	211	私立大	359	その他	4	計	574
北海道大	2	福岡女子大	1				
東北大	4	福岡県立大	1				
筑波大	2	その他の公立大	6				
北北大	4	防衛大	1				
千葉大	1	防衛医科大学	6				
東京外国語大	2	水産大	1				
東京工業大	2	私立学	359				
東京学芸大	2	青山学院大	4				
東京農工大	2	上智大	2				
お茶の水女子大	1	学習院大	2				
電気通信大	1	慶応大	1				
横浜国立大	2	国際基督教大	2				
信州大	1	駒澤大	2				
京都大	4	中央大	1				
大阪大	8	津田塾大	1				
神戸大	3	東京理科大	10				
奈良女子大	1	日本大	8				
鳥取大	2	法政大	2				
岡山大	3	明治大	6				
広島大	4	立教大	5				
山口大	18	早稲田大	14				
愛媛大	2	京都外語大	2				
香川大	1	京都女子大	4				
福岡教育大	10	京都薬科大	1				
九州大	59	同志社大	1				
九州工業大	21	同志社女子大	32				
佐賀大	12	立命館大	6				
長崎大	11	関西大	56				
熊本大	20	関西学院大	8				
大分大	4	近畿大	10				
宮崎大	3	神戸学院大	1				
鹿児島大	2	久留米大	1				
その他国立大	37	西南学院大	3				
公立大	39	九州産業大	3				
首都圏東京	1	福岡大	5				
大阪府立大	1	産業医科大	13				
大阪市立大	1	その他の私立大	65				
下関市立大	1						
北九州市立大	1						
九州歯科大	1						

東筑奨学会 支援のお願い

昭和56年6月、「学校法人東筑学館」の解散後の残余財産を基礎とし、同窓会、PTA及び地域有志の方々のご寄附を基本金として、「財団法人東筑奨学会」が設立されました。その後、平成26年4月1日より「一般財団法人東筑奨学会」を経て、平成27年4月1日より「公益財団法人東筑奨学会」として新たにスタートいたしました。

この間、「財団法人東筑学舎」からの寄贈「添田壽一基金」をはじめ、多くの皆様方の物心にあつたご理解とご支援ご協力を賜り深く感謝いたします。

さて、現在は、福岡県立東筑高等学校の教育の充実と健全なる校風の振興を援助し、併せて北九州地区の教育の振興に寄与することを目的として活動しています。

具体的には、在校生の範となるものに対して記念品を贈り、学業成績が特に優れたもの、部活動で全国大会優勝・出場、又はこれに準ずる成績をあげた者、3年間皆勤した者等が対象となっております。

東筑高等学校ももうすぐ120周年という大きな節目を迎えようとしています。「本気の文武両道」をスローガンに、学校をあげて一生懸命に取り組んでいます。本奨学会も、時代の進展に応じ、事業内容をさらに精選充実し東筑高等学校の文武にわたる

振興のために活動いたしたいと思っております。

21世紀を担うに足る有徳の青年の育成を目指している東筑高等学校の今後の更なる発展を期して、多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、ご承知のとおり、新公益法人制度が施行され、ご寄付いただいた方には本奨学会が発行する領収書を添付すれば、所得金額から税法で規定された金額が控除されますし、土地、建物、株式などの資産を寄付していただいた場合にも、一定の要件を満たすものとして、国税庁長官の承認を受けた時はこの所得税について非課税とする制度が設けられています。

これによりご寄付がしやすくなり、徐々にですが寄付者が増加する傾向になっております。以上、ご報告するとともに、今後とも皆様方の変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

公益財団法人 東筑奨学会
理事長 小野 晃

事務局

〒807-1083 1
北九州市八幡西区則松

二丁目2番24号
福岡県立東筑高等学校 東筑会館内
電話 093-603-6815

※奨学金へのご寄付は、左記口座へ振込みください。ますようお願い申し上げます。

福岡銀行 折尾支店	普通預金	1321864
西日本シティ銀行 折尾支店	普通預金	1735106
遠賀信用金庫 折尾支店	普通預金	1129508
福岡ひびき信用金庫 折尾支店	普通預金	1238299
振込口座名		
公益財団法人 東筑奨学会		
理事長 小野 晃		

平成28年度寄付者(敬称略)

- 東筑高校PTA
 - 東筑高校母の会
 - 広島東筑会
 - 芦屋東筑会
 - 岡垣東筑会
 - 遠賀町東筑会
 - 中間東筑会
 - フレンドリー鞍手町東筑会
 - 北九州洞海東筑会
 - 宗像東筑会
 - 高嶋康年(49期)
 - 三戸道雄(57期)
 - 三原征彦(61期)
 - 卒業生(匿名希望)(2件)
- 680,066円(15件)

平成29年度 体育祭

平成29年9月10日の日曜日、東筑高校体育祭が来賓、保護者など多くの来場者を迎え母校のグラウンドで行われた。晴天のもと全校生徒千人余りが日頃から培った底力をいかに発揮し、東筑生の心意気を示した。



女子全員による縄跳び競争



獅子頭で応援の3年生

生徒会長挨拶 松田紗代

今日は東筑高校体育祭にお越しいただきありがとうございます。今年には伝統ある競技に新たに得点競技が加わり、見ごたえある体育祭になっています。3年生にとっては最後の体育祭。夏休みの忙しい中、早くから準備を始める姿が印象に残っています。先輩方の背中をみて下剋上を目指す1、2年生。今年も熱い闘いが繰り広げられることでしょう。



応援合戦 遠景

「本気の文武両道」今日だけは勉強のことを忘れて、自分たちだけの体育祭を思いきり楽しみます!生徒一人一人が最後まで諦めず一歩一歩駆け抜ける姿をぜひご覧ください。

(体育祭プログラムより抜粋)

各部活動状況

(県大会出場以上を掲載)
(平成29年8月31日現在)

囲碁部

- 第31回全九州高校囲碁選手権大会
男子団体 準優勝
女子団体 4位
- 第11回全国高校囲碁選抜大会
全国大会 男子団体 出場
- 第41回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 福岡県大会
男子団体 優勝 女子団体 3位
男子個人 2位・4位・5位
- 第41回全国高校総合文化祭囲碁部門 福岡県大会 男子個人 2位・3位

将棋部

- 第23回県高文連将棋新人大会
男子個人 2位
- 第25回全国高文連将棋新人大会
東京大会 男子個人 出場
- 第24回県高文連将棋選手権大会
男子団体 優勝
女子個人 2位

音楽部

- 平成28年度高文連合唱部門
県大会出場

吹奏楽部

- 平成28年度県高校総合文化祭
県大会出場

美術部

- 平成28年度県高文連
第30回デザインコンペ 入選

書道部

- 平成28年度第31回県高校総合文化祭指揮大会 県大会出場

生物部

- 県高校総合文化祭生物部門
研究発表 最優秀賞
- 第41回全国高校総合文化祭
宮城大会出場
- テーマ・コロギの
行動24時間大追跡

EJSS部

- 第15回県高校英語スピークト大会 出場
- 第35回県高校英語スピーチコンテスト(弁論・暗唱の部) 出場

文芸新聞部

- 第31回県高校総合文化祭 第20回文芸専門部 県大会出場

茶道部

- 平成29年 3月若屋釜の里
春の茶会 薄茶席担当

演劇部

- 平成28年度高文連総合文化祭演劇部門
北九州地区大会 優良賞

総合部(空手道)

- 平成28年度JOCジュニアオリンピックカップ 第36回全国高校選抜大会(全国大会) 男子個人形 出場
- 県高校新人大会(県大会)
男子個人形 優勝
- 第43回県選手権大会 個人戦(県大会) 少年男子形 準優勝
- 平成29年度県高校総体選手権大会(県大会)
男子個人形・女子個人形 各々出場

バスケットボール部

- 平成28年度県高校新人大会
女子ベスト24 男子ベスト16
- 平成29年度県高校総体
女子出場 男子 ベスト24

バレーボール部

- 第69回全日本高校選手権大会
県大会 男子・女子共に出場
- 平成28年度県高校新人大会 県大会
男子・女子共に出場
- 平成29年度県高校総体 県大会
男子・女子共に出場
- 平成29年度天皇杯・皇后杯福岡大会
女子県大会 出場

野球部

- 平成29年度第140回九州地区高校大会福岡大会 ベスト8
- 平成29年度県高校野球連盟招待野球VS日大三
- 第99回全国高校野球選手権大会(夏の甲子園) 出場

ボート部

- 平成28年度県高校新人大会
女子シングルスカル・舵手付クオドルブル 各々優勝
- 男子シングルスカル・ダブルスカル 各々2位
- 平成28年度全国選抜競漕大会九州地区予選(熊本)
女子舵手付クオドルブル 2位、全国大会(静岡)
- 8位入賞
- 平成29年度県高校競技大会
男子シングルスカル・女子ダブルスカル・男子舵手付クオドルブル 各々優勝
- 男子ダブルスカル 2位
- JOCジュニアオリンピックカップ・第15回全日本ジュニアボート選手権大会(熊本) 出場
- 平成29年度全九州高校体育大会(天分) 女子ダブルスカル 優勝
- 男子舵手付クオドルブル 女子舵手付クオドルブル 各々3位
- 平成29年度国体第37回九州ブロック大会(長崎)
少年女子ダブルスカル 優勝

陸上部

- 第38回県高校新人選手権大会
男子400m 5位・三段跳 22位
100m 4×400m R・走高跳 出場
女子走幅跳 7位・10位
三段跳 4位・5位
100m 400m 4×400m R 出場
- 第71回国民体育大会
少年女子共通三段跳 27位
- 第32回日本ジュニア選手権大会
女子三段跳 21位
- 第70回全国高校選手権大会県予選会
男子400m 準決勝進出・走高跳 24位 三段跳 15位・19位・22位
4×400m R 出場
- 女子走り幅跳 3位・7位・16位
三段跳 6位・7位・20位
200m 400m 400m R 出場
- 4×100m R 出場
- 同 北九州地区予選会(福岡)
女子走幅跳 12位
第3回県高校学年別大会
男子A三段跳 14位・17位
B三段跳 4位

水泳部

- 平成28年度県高校選手権新人大会
男子400m M R・400m R・200m 背泳ぎ・50m 自由形・50m 背泳ぎ・50m 平泳ぎ
女子400m M R・400m R
- 400m 個人 M R 3位
- 200m 個人 M R 3位
- 200m 自由形 4位
- 100m 自由形 6位
- 50m バタフライ・50m 平泳ぎ
(以下九州大会出場女子総合5位)
- 平成28年度全九州高校選手権新人大会
女子400m 個人 M R 決勝 9位
女子100m 自由形 決勝 10位
- 平成29年度県高校総体選手権大会
400m 個人 M R 6位
200m 自由形 7位
女子400m R 決勝 6位
女子は800m Rの全九州大会出場権を獲得

山岳部

- 第7回全国高校選抜クライミング選手権大会 出場
- 平成29年度国体第37回九州ブロック大会山岳競技少年女子 出場
- 平成29年度国体県予選会
少年男子 3位
少年女子 2位・3位

ラグビー部

- 第96回全国高校大会県予選
平成28年度全九州高校新人大会県予選
ベスト8
- 第39回全九州高校新人大会県予選
ベスト8
- 第70回全九州高校大会県予選
ベスト8
- 第4回全国高校7人制大会県予選
ベスト8

バドミントン部

- 平成29年度県高校総体県大会
女子団体 出場

合気道部

- 平成28年度県高校新人大会
女子団体・女子個人 出場
- 平成29年度県高校総体県大会
男子個人・女子個人 出場

剣道部

- 平成29年度県高校総体県大会
男子団体 出場
- 平成29年度玉竜旗大会
男子・女子共に出場

柔道部

- 平成28年度県高校新人大会
男子団体出場・男子個人100kg級 2位
- 同九州大会
男子個人100kg級 ベスト8
- 平成28年度県高校選手権大会
男子団体・男子個人73kg級・無差別級出場
- 平成29年度県高校総体県大会
男子団体・男子個人73kg級・100kg級級出場
- 男子個人100kg級 2位
- 同九州大会
男子個人100kg級 出場

相撲部

- 平成28年度県高校新人大会
男子個人80kg未満級 ベスト4
- 平成29年度県高校大会
男子団体 3位
男子個人80kg未満級 3位・4位
- 同九州大会
男子個人80kg未満級 出場

卓球部

- 平成28年度県高校新人大会
男子シングルス ベスト8
- 男子団体 ベスト10
- 平成29年度県高校総体
男子団体3位
男子ダブルス ベスト6
男子シングルス ベスト16

ソフトテニス(女子)

- 平成29年度県高校総体県予選
個人戦 出場

平成28年度 国内エンジニアス研修

先輩の偉大さを

肌で感じる事ができた研修

東筑高校教諭 山口理恵

本校SSH事業の目的である「産・学・官との連携をとおした学びによる科学技術人材の育成」を実現するプログラムの一つとして、平成28年度の国内エンジニアスが12月15日から18日にかけて、3泊4日の日程で実施されました。今回研修に参加した117期25名の生徒の心には、各研修先で懇篤な対応をしてくださった先輩方の姿が色濃く残っています。

研修初日は、まず京都大学吉田キャンパスにある法学部原田大樹教授(94期)の研究室を訪問し、大学の講義見学や、原田先生とゼミ学生との懇談を経験しました。生徒は学術の世界に初めて触れ、学問に対する薫陶を受けた様子でした。その後、京都大学桂キャンパスに移動し、都市環境工学部大学院生の野口くん(106期)に風洞実験室などを丁寧に案内していただきました。探究心を刺激され、カメラのシャッターを切り続ける生徒の姿が印象的でした。

2日目は東京へ移動し、博報堂と内田洋行の二社を訪問させていただきました。博報堂では社会の最前線で活躍している本校卒業生の後藤さん(78期)、永島さん



1日目 京都大学工学部で風洞実験室を見学



2日目 ㈱内田洋行で柏原孝会長の話を聞く参加者

(82期)、伊賀さん(83期)、山本さん(88期)のプレゼンテーション等を聞き、また企業が用意してくださった商品開発研修を体験し、表現力や発信力を身に着けることの重要性を実感しました。午後には訪問した内田洋行ではICTを活用したフューチャークラスルームやユビキタス環境の整ったオフィスなどを同社取締役会長で、東京東筑会の会長でもある柏原孝さん(67期)が直々に案内してください、生徒たちは感動しきりでした。

3日目は東京大学本郷キャンパスを訪問し、工学系研究科マテリアル工学専攻井上純哉准教授によるマテリアル工学の

平成28年度

グローバルエンジニアス研修in USA

東筑生、世界を学ぶ

SSH推進班長教諭 高橋信命(89期)

平成29年3月5日から11日まで、SSH事業平成28年度グローバルエンジニアス研修in USAを実施しました。今回で4回目となるこの研修には117期の12名が参加し、アメリカ合衆国の各地で大学や高校、公館、研究所等を訪れ、通常の学校生活では得られない数々の貴重な体験をしてきました。

1日目は、羽田からミネアポリスを経由して最初の目的地であるノースカロライナ州ローリーダーラム空港へ移動しました。ここでの研修は、大学訪問と高校交流です。ノースカロライナ大学チャペルヒル校では、医学部のクリッシー・キスラー先生の講義を受けました。先生の専門は家庭医療学で、老年医療や訪問医療などの課題について教えていただきました。すべての講義や質問は英語で行われます。生徒たちは慣れないながらも、実践的な英会話に挑みました。また、イーストチャペルヒル高校では、長年ノースカロライナ州で日本語教育をなさっている青柳好美先生の御厚意で、現地の高校生たちと授業見学や英語によるプレゼンテーションなどの交流を行うことができました。

翌日はバスでハイウエイを4時間走ってバージニア州へ移動です。ここではバージニア工科大学を訪れ、研究施設見学や講義の受講を行いました。工学部の村山光宏教授からは、将来世界を舞台に活躍できるような人材となるためにも文系・理系の枠を超えて幅広く何でも勉強するよう助言をいただき、生徒たちも大きな感銘を受けたようです。名門大学のとかく広いキャンパスは、重厚で落ち着いた雰囲気をもちつつも自由闊達な空気を生み出しており、アメリカの壮大さを感じることができました。

翌朝はバスでさらに4時間かけてワシントンDCへ移動し、日本国大使館を訪問しました。在米日本国大使館には科学班という部署があり、通常あまり知ることのないその任務について新井知彦班長から講義を受けました。ワシントンDCはアメリカの政治の中心、そして世界の中心であることを感じさせる街です。そのスケールの大きさは、生徒たちに驚きを与え続けました。最後の研修では、世界最高峰のシンクタンクとして名高いブルッキングス研究所を訪問し、東アジア研究の第一人者であるミレヤ・ソリス氏に国際関係の講義をしていただきました。少々難



3日目 国の重要文化財「東大赤門」をバックに

講義を受講しました。また、午後からは学生団体フェア・ウインドの学生から直接話を聞くことで大学の学びの深さを知り、大いに刺激を頂きました。

最終日には、東京東筑会事務局長の憶谷さん(74期)のご協力で国会議事堂や代々木公園などを見学しました。国会議事堂では本校OBの衆議院議員三原朝彦さん(64期)とも直接お会いでき、生徒たちは大変稀有な経験をさせていただいたことに興奮冷めやらぬ様子でした。

また東京・関西両東筑会の皆さまには懇親会を催していただき、そのご厚情に深く感謝します。先輩方の後輩に対する愛情と期待を全身で感じる事ができた生徒たちは、東筑に来てよかったと口々に述べておりました。東筑の先輩方のご支援で様々な学びの場が提供されているということに強く実感した生徒は、研修前とは違う、きりりと



国内ジニアス研修結団式117期25名

した表情を見せるようになりました。これもひとえに本研修の事前準備から当日まで、実に多くの卒業生の皆様に関わっていただき、支援いただいたおかげだと感じております。最後になりましたが、このように有意義な研修が実施できたことに対して、この場をお借りして心より御礼を申し上げます。



日本大使館にて



イーストチャペルヒル高校で現地高校生と交流

しい英語も、生徒たちは熱心に聞き取っていました。すべてが充実していた7日間の研修は、振り返ってみれば、さまざまな出会いや発見の連続です。実際に来て、見てみたいと決してわからない貴重なことが、アメリカにはたくさんありました。この広大な国で、世界のこと、自分のことをじっくりと考える機会を得て、生徒たちは大きく成長し、また折尾の地へ帰ってきました。

本研修については、企画・準備から実施に至るまで、東筑会の皆様方をはじめ多くの方々に物心両面で支えていただきました。生徒たちにこのような素晴らしい研修を提供できたことにつきまして、この場をお借りしてお礼を申し上げます。



バージニア工科大学の広大なキャンパスにて



ホワイトハウス周辺にて

第27回 定期野球大会

定期戦の面白さ

野球部 副部長 山下聖士(97期)

5月31日に第27回定期野球大会が北九州市民球場で実施されました。好天に恵まれて予定通りに試合に臨むことができました。

私自身は、4月からこの東筑高校に赴任してまいりました。この年までの成績は13勝12敗1分け。公式戦の実績にかかわらず、何が起るかわからないのが定期戦。今年はどうな戦いをみせてくれるのかOBの一人としても楽しみにしていました。

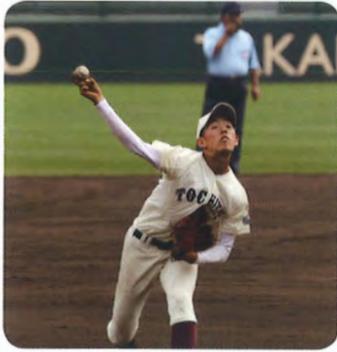
先攻は東筑高校、小倉高校はMax 140kmを超える速球をもつ、福岡県の注目投手の一人である中野投手。初回の攻撃は3人で、しかも2三振と完璧に抑えられてしまいました。一方の東筑の投手は2年生の石田。数日前に行われた招待試合では、日大三校(東京)相手に3安打完封と、見事なピッチングを披露し、周りからも注目されるようになってきている所でした。初回は、四球を1つ出したものの、こちらも2三振と立ち上がりとしては上々でした。試合が動いたのは2回表、1アウトから5番の盛田が死球で出塁すると、2アウト2塁となり、7番キャプテンの安倍が右中間へ先制のタイムリーを放ちました。3回までは毎回ランナーを出しながらも、なんとか無失点に抑えていましたが、4回の裏、1アウトから四球を与えた直後、左中間へ3塁打を打たれ同点。その後、犠牲フライで逆転されました。さらに5回に1点、6回には力投をみせていた石田に代わって登板した3年生の山本が

3ランホームランを打たれ、1対6となり小倉優勢で試合が運ばれていきました。しかし、8回に東筑も意地をみせます。2アウトから5連打で一挙5点を挙げついに同点。会場の盛り上がりも最高潮でした。しかし、その裏、犠牲フライで再び勝ち越され、万事休す。6対7で惜しくも負けてしまいました。

残念ながら負けはしましたが、東筑高校はベンチ25人すべて出場し、その中でこれだけの接戦に持ち込むことができたことは良かったですし、球場内

で応援してくださった方々にとっては、楽しめる試合展開になったのではないかと思います。これで対戦成績は13勝13敗1分けと再び五分となりましたが、来年も今年以上の白熱した試合ができればと思います。

定期戦は、惜敗という形で終わりましたが、これからの本番です。定期戦以上に盛り上がる夏の大会にして、同窓の皆様の後輩達の頑張りをお伝えできればと思います。今後とも、ご支援、ご声援をよろしく願います。



手に汗にぎる白熱の試合



応援団を中心とした懸命の声援

第4回「ようこそ先輩」講演会開催

講演会開催

86期事務局長 中村和己

今年で4回目となる「ようこそ先輩」講演会を6月10日(土)午前中に開催致しました。今年も86期を中心に様々な職種(法曹関係・保険・出版・公務員・製造)の面々総勢14名が講師となりました。各講師は講演資料をパワーポイント等でそれぞれ工夫し準備してきました。しかし自分の分を準備しようとすると、仕事の内容・技術や高校時代から大学を経て社会人の現在までどのように考え過ぎてきたかを簡潔に分かり易く資料に纏めることが予想以上に難しく、50分の講演時間の中で紹介するエピソードや内容を削る方に苦労しました。そしていざ講演が始まると、50分の時間はあつと言う間に過ぎてしまい、準備していた面白いエピソード(ネタ)を紹介できなかつたのが残念でした。しかし、技術者となるための心構えや必要なスキルだけでなく、高校・大学はあくまで通過点であり、その先を見据えることが大事であることと、高校生活を全力で楽しみ過ぎて欲しいことを伝えることは出来たと思います。そして何よりも真剣に講演内容を聴く現役生の眼差しが印象に残っています。

それぞれのクラスに分かれての講演の後は、全員が集合しフリーの質疑応答の時間となりました。現役生の熱意あふれる質問に答えようと、我々も回答に熱が入ってしまい、かなり時間をオーバーしてしまいました。その中で、現役生の熱意に圧倒されながらも、頼もしい後輩達であることに感動し、誇りに思いました。今回の私たちの講演が、少しでも彼ら彼女らの心に残り、いつか役に立つ日が来ることを願っています。

21年ぶりの甲子園大会に出場して



野球部監督 青野浩彦 (分期)

平成29年7月8日。第99回全国高等学校野球選手権大会福岡大会が開幕しました。開会式が九州北部豪雨の影響で中止という異例の出来事がありました。その後は順調に試合は行われていきました。本校は春の大会で勝ち上がったポイントにより第7シードでした。初戦の2回戦は12日、相手は大和青藍でした。安部、石田の2本塁打が飛び出し9対1の7回コールド勝ちと幸先のいいスタートを切ることができました。

またが、4対1の苦しい試合でした。県大会出場をかけた4回戦、相手は八幡工業。練習試合で何度も対戦し、やりにくい相手でした。5回に2対1でリードされた中、盛田の2点本塁打で逆転。再度同点に追いつかれましたが、7回、9回と1点づつ加えることができ5対3の辛勝でした。3回戦に続き非常に苦しい試合展開でしたが、県大会に出場が決まりホッとしました。

3回戦は戸畑高校です。左の好投手をどう攻略できるかが鍵でした。初回に先制され、嫌な雰囲気の中でも2回に追いつくことができ、6回まで1対1の状態が続きました。7回に別府の三塁打で勝ち越すことができ

小郡球場に決戦の場を移し、春の大会に優勝して九州大会に出場した九産大九州との対戦でした。春の県大会では、8回コールド負けをした相手でもありました。最初からチャンスになれば是非でも点を挙げてやろうと意気込んでいました。2回にそのチャンスで小田がスクイズを見事に決めてくれて先取点を奪うことができました。再三のピンチを凌ぎ、終わってしまえば石田の3安打完封。1対0というスクイズで上げた唯一の得点が決勝点となりベスト8進出となりました。次は準々決勝。3期連続出場の九国大付属を破った福工大城東との対戦でした。4回に雨による1時間以上の中断後をつかれ3点を先制されましたが、このまま諦めるわけにはいかないと、色々な考えが頭の中を駆け巡っていた中、石田が追加点を与えず踏ん張り、7回に1点を返し、8回代打山田のタイムリーで1点差坂口が期待以上の働きで2点本塁打を打ち逆転、最後まで油断を許さない展開でしたが逃げ切ることができベスト4になりました。

いと言われていたので、その思いに込められて本大会に嬉しい勝利でした。準決勝は春の九州大会に出場し、強力打線の西日本短大附属との対戦となりました。準決勝から全校応援となり、大応援団に見守られる中で試合ができることを嬉しく思いました。中1日で臨んだ準決勝、2点先制をして好調なスタートを切ることができましたが、あつという間に同点に追いつかれ、その後はスコアがなかなか動かない状態が続きました。6回にチャンスが訪れ、安部が勝ち越しスクイズを決めてくれました。終盤は小刻みに得点し、7対3で勝つことができました。決勝へ進出することができました。決勝は7月28日、春の甲子園大会ベスト8の福大太濠高校でした。チャンスは必ずあると信じて臨みました。1回に先制されましたが、2回に盛田の左越え本塁打で同点。さらに菊池、安部の連打でチャンスをつくり、北村のスクイズで逆転。3回にはランナー1塁から水上の2塁打で1点を加え3対1。大濠のエースから10三振を奪われたものの、この序盤であげた2点差を守り抜き21年ぶりに甲子園への出場を決めました。石田は連投で万全ではなかったものの工夫を凝らして最後までよく投げ抜きました。当初から石田伝説が囁かれ、大きくマスコミから取り沙汰されて、本人にも大変なプレッシャーがあつたかと思えます。伝説を良い方に捉え、いい結果を出してくれました。毎試合ヒーローが登場し、全員で掴んだ甲子園だと思っています。応援してくれた生徒たち、駆けつけてくれた沢山の方々、非常に暑い中、野球部と一体になり勝利を信じて心から応援してくれて、本当に大きな力をいただきました。甲子園出場瞬間を、野球部だけでなく、生徒たちをはじめ、たくさんの方々で味わうことができたことに感謝の気持ちで一杯でした。

済美高校に決定しました。開会式は台風のため順延するという大変珍しいことが起きしましたが、8日に開会式の余韻を楽しまし間もなく試合は始まりました。試合は頼みの石田の制球が定まらず、立ち上がり2点を先制され、嫌な流れでしたが、阿倍のフェンスに激突しながらのスパープレーが飛び出し、4回に盛田が東筑高校甲子園初本塁打を打ち、その後菊池、安部、北村の4連続長短打で3点を奪い逆転に成功しました。4回途中から雨が降りだし、福工大城東戦に続き、またもや1時間以上の中断がありました。試合再開後、想像以上に素晴らしいパワーの相手の打線を抑えきれず、10対4で敗れてしまいました。13安打を放つも失点が多く反撃できなかつたことに悔いが残りますが、選手たちは本当によく頑張ってくれたと思います。21年ぶりに甲子園に出場することができたこと、満員のアルプス席の大応援団に勇気づけられながら試合ができたことを本当に幸せに思いました。



堂々とした東筑の入場行進

学校で課外授業を受けている一般の3年生たちから、準決勝に進出すればまた球場で応援ができるから絶対に勝つてくださ

8月2日に甲子園入りし、4日に抽選会でした。平成8年の初戦も初日だったので、今回も初日の第2試合、愛媛代表の

同窓の皆様にはたくさんのご支援を賜り本当にありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。喜びと感謝のお言葉をたくさんいただき大変嬉しく思いました。もう1度甲子園に戻って来られるように生徒と共に頑張りたいと思います。今後とも応援よろしくお願いたします。



3塁側ダッグアウトの東筑の選手たち

夢の12日間

野球部部长 山本哲也(82期)

この度の甲子園出場に際しましては、多くの御支援・御声援をいただきまして誠にありがとうございます。

7月28日、21年ぶりの夏の甲子園出場を決めたものまだ実感が湧かない中、学校へ戻ると、学校関係者・生徒のみならず、高山東筑会会長はじめ御支援してくださっている多くの方々が労いの言葉と拍手で迎えてくださいました。優勝の報告をする中で少しづつ、本校としての、また公立高校としての悲願を達成したという喜びや充実感を感じられるようになっていきました。

しかし8月7日に開幕を控えているため、歓喜の余韻に浸る間もなく、すぐに甲子園に向けての準備がスタートしました。

翌29日の土曜日は通常通りの課外授業。午後は新聞社やテレビ局の取材を受けながらの練習。日曜日を挟んでの31日は課外授業の後、体育館において壮行会をしていただきました。高野連と共催である朝日新聞社の旗が張り巡らされた体育館の壇上で安部主将が甲子園での活躍を誓いました。

8月1日は北九州市役所に、北橋市長と市議会を表敬訪問しました。

8月2日はJR折尾駅で出発式を行った後、博多にある朝日新聞社を表敬訪問。続いて福岡県庁を訪ね、小川県知事、城戸教育長にお祝いとお言葉をお聞きしました。その後、高校教育課を表敬訪問しました。選手たちはそのままJR博多駅から神戸へ向かい、夕刻、須磨の宿舎に入りました。

8月3日は、午前中に伊丹市にある住友総合グラウンドで2時間練習した後、15:30から30分間の甲子園練習。所狭しと並ぶカメラと溢れんばかりの報道陣に、改めて国民的行事なのだということを実感しました。

8月4日は、

午前中に加古川市の東播工業高校で2時間練習

した後、大阪にある関西福岡県人会を表敬訪問

した後、フェスティバルホールで抽選会に臨みました。そこで安部主将が21年前と同様、初日を引当てたのはみなさんご存じの通りです。

8月5日は、選手は午前中みっちり洗濯

午後は明石西高校で練習。

8月6日。5時に朝食をとり開会式の予行のため甲子園球場へ。いやが上にも緊張感が高まっています。

終了後練習会場である大阪ガスの野球場に着いた11時、台風による順延の連絡が入りました。

8月7日。台風接近により甲子園球場の室内練習場が使用できないため、急遽、京都にある立命館大学野球部の室内練習場をお借りし、3時間ほど練習をしました。

そして、あの楽しくて悔しい夢のような8月8日。

以上が代表決定から甲子園開幕までの野球部の様子です。行く先々で祝福され、よくやってくれたという感謝の言葉をかけていただきました。こちらこそただただ感謝しただけですが、印象的だったのはどこでも誰でもとにかくそこにあるのは笑顔ばかりだということです。

日頃お世話になりっぱなしの我々ですが、少しだけ御恩返りできた気がしています。

できるだけ近いうちにあの高校野球最高の舞台である甲子園球場で、皆さんと一緒に校歌が歌えるよう精進してまいりますので、今後とも宜しくお願いいたします。



7月31日学校での壮行会

もう一つの戦い



応援部顧問 増本俊記(85期)

おそらくもう出場することはあるまいと思っていた甲子園でした。平成8年に本校が優勝して以来実に21年もの間、私立高校が夏の優勝旗を独占していたわけですから、如何にそれが公立校にとつて至難の業であるかわかりただけのことと思えます。今回野球部が、強豪私学を次々と打ち破り、甲子園への切符を勝ち取ったという快挙は、来年度創立百二十周年を迎える本校にとつてこの上ない慶事でありました。

野球部とともに灼熱のスタンドで戦った応援部員はマネージャー4人を含む11人。近年は部員も少なく女子がそのほとんどを占めております。昔は演技をするリーダーは男子ばかり、そのリーダーだけで15人以上いたことを考えると隔世の感があります。

それが、部員には「歴代の先輩方の倍の力量がないと大応援団を統率できない」と常々言っていました。人数的にも体力的にも厳しい戦いが続きました。気温35℃をこえる中、疲労で声がかすれ、頭痛にも悩まされ、腕が痺れる等、様々なアクシデントに見舞われました。しかし115

期から取り組んだマーチのパターン化、ハンドサインの導入などを始めとする、甲子園アルプススタンドを念頭においた意識改革、甲子園に対する強い想いが、厳しい戦いを乗り切ることのできた要因の一つであったのかもしれません。

私自身、小学生だった昭和53年から数えて8回目の甲子園でしたが、何度来てもここは格別なもの。さらに21年間待ち焦がれた同窓生、関係者で埋め尽くされたアルプススタンドの迫力は圧巻の一言であり、「天下に冠した」東筑同窓の底力に胸を熱くいたしました。ただ高校野球連盟から出された甲子園応援の規約が予想以上に厳しく、

アルプス三千人を動かすために準備してきたことが半分近くできない内容であったため、応援生徒八百人をしつかり動かす方向へ縮小せざるを得なかったことは断腸の思いでしたが、同時に今後の大きな課題を突き付けられたとも考えております。唯一の救いは、そのスタンドに後押しされた応援生徒の声や動きがこの夏の出来栄であったこと。我々の応援を見た大会関係者から感嘆の声が上がっていたと伺い、応援生徒の頑張り、応援部員たちが積み重ねた成果の一端は発揮できたのではないかと思っています。

最後になりますが、野球部のみならず我々応援部までもがあの檜舞台で、貴重な経験と掛替えのない思い出を胸に刻むことができました。これまで多大なご尽力をいただきました同窓会東筑会をはじめ関係各位、また全国各地から遥々甲子園にまで足をお運びいただいた多くの方々に対し、この場をお借りして心より御礼申し上げます。



甲子園出発式での応援(JR折尾駅前)

甲子園観戦記

—21年ぶりの甲子園出場に地域も大盛り上がり—

会報委員 青野元昭(70期)



「東筑高校の卒業生として、最高の夏をありがとう—」
東筑高校野球部の21年ぶりの甲子園出場。何と嬉しいことか。

甲子園出場の決まった8月上旬、母校や折尾駅付近を散策した。町のいたる所に朝日新聞社の旗と「祝東筑」と書かれた多くの応援ビラが貼られている。また、通学路である堀川沿いには応援ビラ等の他に「東筑甲子園出場おめでとう—」と書かれた大きな横断幕(地域の有志の方々の志によるものだそうです)まで掲げてあった。母校が地域にいかに愛され、溶け込んできたか

◀東筑正門も「甲子園出場」にデコレーション



▶堀川沿いの「祝甲子園」風景



を実感した次第である。

さて、台風の影響で一日遅れの8日の開会式。甲子園に行く絶好の機会をいただきたいので、開会式から観覧することにした。何しろ、初めての甲子園である。バックネット裏から間近に見えることもあり、気持ちの高まりは抑えようもない。

行進曲「国民の象徴」を演奏する吹奏楽団と合唱団(いずれもすべて高校生)の入場のあと、いよいよ参加49校の入場行進である。東筑球児達の入場は実に堂々としたもので、先頭の安部主将をはじめ一人ひとりが大きく見えた。「福岡代表 東筑高校」というアナウンスに、感激もひとしおであった。

全49校揃っての一斉行進はまさに圧巻。会場からごく自然に拍手が湧き起こる。全員が高校生で構成された吹奏楽団や合唱隊の素晴らしい演奏もさることながら、一糸乱れぬ選手たちの行進等、日本の高校生の最高の姿が凝縮した光景を見ることができ、大変嬉しかった。

開会式が終わり、いよいよ本番の第二試合。試合前にアルプス席に移動し、同窓と観戦することにした。在校生をはじめとする東筑関係者、同窓、東筑ファンでアルプス席は超満員である。気持ちの一つにした懸命の応援に、東筑同窓の絆の深さを実感した。試合前と7回の攻撃前には、校歌「筑紫の國の、國の崎・・」をみんなで思いきり歌った。

甲子園における初めてのホームラン、大ブラインプレー、最後まで諦めず懸命なプレー等々。同窓一体となったアルプススタンドでの大きな応援に深い感動をいただいた。試合には敗れたものの、全力でプレー



「東筑」のプラカードが甲子園のここにある嬉しさ



東筑球児諸君、大きな感動をありがとう



アルプスの大応援団からの万雷の拍手 (62期 若崎安男氏撮影)



「本気の東筑魂」を感じた全力応援!!

しベストを尽くす姿、礼儀正しく野球に向かう姿は、賞賛に値するものである。
なお、この東筑の熱い夏については、「夏の甲子園 もう一つの青春」(NHKドキュメント72時間)で、9月1日に全国放送さ

れ、地域や同窓に愛される学校として紹介されていた。東筑の熱い夏はまだまだ続きそうである。
改めて、東筑球児たち、最高の夏をありがとう!

各地区東筑会だより

東京東筑会

今年も、東筑高校部活動の成果が続々と寄せられており、喜ばしい限りです。特に、待ちに待った野球部の21年ぶり甲子園出場は、最大のトピックです。それはもう、応援団の編成やら、寄付金集めやらで大騒ぎです。

ただし、この件の詳細は本校からの情報に譲り、ここでは東京東筑会のトピックとして、関東近辺の東筑生の活躍ぶりをご紹介します。

今年の第40回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権全国大会が、7月24～26日に囲碁の総本山、東京市ヶ谷の日本棋院で開催されました。

各県予選を勝ち抜いた男女団体1校ずつと、個人戦2名ずつで争いました。東筑は、男子団体戦と個人戦に、東筑史上そして今年の九州最強チームで挑みました。

団体戦1次リーグ第1回戦の相手は栃木県有数の進学校、宇都宮高校。初戦でもあり、見ている方が心配でしたが、本人達は問題ではなかったようです。そして第2回戦の延岡学園戦も難なく勝利し、いよいよ難敵の県立浦和高校です。毎年、東大合格者を20名以上輩出する埼玉県トップで、しかもチーム3人のうち2人は院生（プロ棋士への登竜門）経験者だそうです。いかに九州で敵がいなくても、首都圏のチームを超えるのは難しく、残念ながら決勝トーナメント進出は成りませんでした。個人戦でも、埼玉県立春日部高校主将の壁を超えられず、3年生の堤君の高校囲碁生活は終わりました。

しかし、今回の主将は、まだ1年生の佐々木君。あと2年間在校予定なので、きっとまた来年もやって来ることでしょう。その



全国高校囲碁選手権全国大会試合風景

後、第41回全国高等学校文化祭みやぎ総文2017が7月31日～8月1日に白石市で開催され、男女3名の混成チームの中に岡君（3年生）と佐々木君（1年生）、そして明治学園の女子1名がいます。こちらは、ぜひ6位入賞を果たして凱旋してくれることを願っています。

以上のように、最近の後輩たちの活躍ぶりに、OBたちも鼻高々です。勉強に部活に楽しみながら伸びていくことを願っています。

事務局長 億谷和彦（74期）記

上総東筑会

第27回上総東筑会総会・懇親会は、3月17日（金）に東京東筑会 大井恭二副会長（62期）ならびに大貫 恵理子氏（87期、当番期）を来賓としてお迎えし、参加者14名で千葉県君津市のホテル千成で開催致しました。千葉県の上総地区（君津、木更津、富津、袖ヶ浦）ならびに千葉市在住の57期（昭和34年卒）から102期（平成16年卒）と幅広い年代の方に参加頂いております。最近では、現役世代の参加者が増えています。



現役世代が増えている上総東筑会

総会では、松永久義会長（68期）の挨拶、大井副会長の来賓挨拶の後、審議事項である会計報告、予算案の審議、承認を行いました。

初参加の方の自己紹介や近況報告、当番期からの東筑会総会、東京東筑会総会の紹介を行いながら、当時の話に花が咲きました。年代が違っていても同じ地域で暮らしたり、同じ部活に所属していると、相通じるところがあるようです。

最後に応援団出身の藤川秀樹さん（78期）のリードで校歌斉唱、エールを行い、会を締めくくりました。

参加頂いた方、近況をご連絡頂いた皆様どうもありがとうございました。上総地区ならびに千葉県在住のOB、OGの方、是非来年の上総東筑会にご参加下さい。

事務局 平山 隆（86期）記

東海東筑会



東海東筑会 第31回総会

平成28年から平成29年にかけての活動を報告致します。

昨年7月9日（土）、名古屋の「別館ツル」にて納涼大会を開催し、21名が参加しました。社会人一年目の会員も加わり、上は70代から下は20代まで幅広い年代の会員が集い、世代を超えて楽しいひと時を過ごしました。

11月27日（日）は、第18回テクテク会を開催し、14名が参加、桑名市内の散策と名物のハマグリグルメを堪能しました。生憎の雨模様でしたが、桑名の歴史や文化に触れ、有意義な時間を楽しむことができました。

た。
平成29年1月21日(土)は『日本海庄や』にて新年会を開催、17名が参加しました。貸切会場で大変盛り上がり、最後は元応援団の85期佐伯太一氏のリードにより校歌斉唱で締めくくりました。

平成29年度第31回東海東筑会総会を4月23日(日)に『ホテル・ルブラ王山』にて開催致しました。当番期87期会長の船本幸徳氏、東京東筑会当番期実行委員長の渡辺恭人氏のご参加をいただき、総勢29名で大変盛況な会となりました。総会では、中松健一副会長(78期)の進行により、昨年度の行事報告、終始報告、本年度の役員選出、行事計画、予算案などが承認されました。引き続き、懇親会では河面祥三郎顧問(56期)の乾杯に始まり、しばし歓談の時間を過ごした後、恒例のビンゴゲームで大いに盛り上がりしました。最後に、進京一氏(76期)と服部(85期)の演奏で校歌を高らかに斉唱し、盛会のうちに幕を閉じました。
東海東筑会は、今年度より武藤十平新会長(60期)の下、新体制で活気あふれる会となるよう努めてまいります。
東筑会のますますの発展を祈念しております。

事務局長 服部悦子(85期)記

関西東筑会

5月20日(土)、新大阪駅にほど近い大阪ガーデンパレスにて、平成29年度関西東筑会総会・懇親会を開催しました。
今回は、合計197名(参加者157名+当番期84期の応援者40名)という多数の方にご出席いただけました。

今年度は役員改選の年にあたり、新会長に富永純二氏(66期)が就任されたほか、新たに副会長に林早苗氏(71期)、幹事長に小川誠吾氏(70期)、事務局長に田中寿和氏(80期)がそれぞれ就任されました。

総会後の懇親会では、富永新会長の挨拶に続き、本校より今任弘之副校長、高崎徳彦東筑会副会長(68期)、東京東筑会より赤松啓子副会長(70期)、また、船元幸徳本校当番期会長(87期)のご挨拶をいただいた後、関西東筑会幹事会の橋本磯先輩(52期)より乾杯のご発声をいただき、開宴いたしました。

学生参加者18名に自己紹介をいただいた後、お楽しみコーナーでは高校文化祭なみの練習を重ねた、双子姉妹によるザ・ピナッツの歌と踊りをギターの生演奏でご鑑賞いただき、続くクイズのアシスタントとして登場した、華やかな和服に身を包んだ男性陣による、へらへら踊りが披露されました。

富永会長の校歌のご説明のあと、恒例の校歌斉唱では、応援団が本校のご厚意により貸し出したいただいた団旗を振り、ブラス



恒例の3番まで校歌斉唱 関西東筑会

バンド部が生演奏をするなかで、いつも通り3番まで校歌を歌い切りました。
また、今回は、本校の応援で最近行われているハンカチを振りながらの校歌斉唱となり、これは期の若い先輩方にはなじみのないものですが、喜ばしいことに、今年の甲子園の応援のちょうどよい予行演習となりました。

今回の参加者で最年長でいらした43期の先輩からご挨拶をいただけたというすばらしいハプニングもあり、最後には新たに副会長となられた林早苗様から閉会のご挨拶をいただいて無事閉会となりました。

今回の手土産は同期による手作ながら本格的なキーホルダーをご用意させていただきました。

このような場を諸先輩方が連綿と培われ、本年その運営をさせていただけたことで、多くの貴重な経験をさせていただくことができました。すばらしい時間をすごさせていただきましたこと、心より感謝申し上げます。
飯田宗一郎(84期)記

広島東筑会

昨年11月27日開催の第31回の広島東筑会は、さながら広島東洋カープの25年ぶりのリーグ優勝を祝う祝勝会となりました。と言いますのも84期の高さんが緒方監督と並んでカープのヘッドコーチを務めているからです。

広島在住の会員に加え高山東筑会会長、花岡学校長、糸谷副校長、船元会長を筆頭に6名の当番期役員も駆けつけていただき当会始まって以来、最高の56名を数える大勢の参加を得て賑やかな会になりました。

高さんからプレゼントされたカープのユニホームを着た高橋会長(50期)の開会挨拶に引き続き先ずはカープの応援歌「それ行けカープ」の全員による大合唱で会の幕開けです。

続いて万歳三唱、高さんとスコアラーの井生さん(97期)への花束贈呈、(花束の一つは高山会長がわざわざ八幡から持参されました)高さんによる優勝報告、引き続き高さんに対する質問コーナーと会は進められました。

次は広島東筑会のユニークなアーチスト・アワーです。具島 孝さん(59期)、後藤ルリ子さん(61期)の力作絵画展、お二人の苦心談など交えての解説に拍手喝采でした。

今回は祝勝ムードを色濃くするために当会で恒例になっているプロ、アマによるミュージック・アワーは取りやめました。この会で欠かせないのが当番期役員による東筑会総会・懇親会の入場券の売り捌きです。当番期会長による宣伝トークの後、



声高らかと校歌斉唱 第31回広島東筑会

6名の役員がテーブルを回って、初期の目標を達成したと聞いています。

最後に柳原郁子さん(74期)のピアノ伴奏により校歌を全員で声高らかに合唱しました。

優勝報告で高さんは来年も引き続きカープのリーグ優勝さらには日本一を勝ち取るとの心強い宣言がありました。出席者全員が必勝を祈る雰囲気の下で会は閉じられました。

なお、今回のお土産は広島銘菓「もみじ饅頭」でした。

会長、高橋昭八郎(50期)記

ふくおか東筑会

平成29年「ふくおか東筑会」の総会並びに懇親会」は5月27日(土)17時から天神スカイホール(福岡市中央区天神)で来賓に高山東筑会会長、中島校長と堀下事務長をお迎えして開催され、140名余が集いました。

総会の中で、中島校長から本校の現状報告がありました。

総会に続く恒例の会員による卓話は、本年は福岡大学商業学部教授の合力知工氏(80期卒業)に講話をいただきました。

懇親会は、高山東筑会会長のご挨拶、今期から「ふくおか東筑会」の顧問に就かれた菊川律子氏(68期)の乾杯発声で始まり、会場内では、本校同窓会を間近にした今年の当番期の87期の皆さんが多数出席されて本校同窓会を大いにPRされ、出席者から盛大なエールを受けました。

豪華賞品が当たる恒例のジャンケン大会やビンゴゲームで盛り上がった後に出席者全員で肩を組んで大きな輪を作り、校歌を高らかに斉唱して、同窓生の絆を確かめ合い、お開きとなりました。

なお、今年からスクールカラーを基調とした「ふくおか東筑」の法被を新調して、



新調の法被で役員勢揃い ふくおか東筑会

役員一同が着用し、皆様のお世話に一層力を注ぎました。

事務局長 富増春樹(85期)記

芦屋東筑会

芦屋東筑会第40回総会(平成28年度総会)は、平成28年10月15日に「国民宿舎マリンテラスあしや」で開催されました。今年も近隣東筑会の会長各位のご臨席を賜り、総勢50名で開催することが出来ました。

総会は物故者に対しての黙禱に始まり、議事におきましても会員の皆様のご協力ですムーズに進行しました。今回は第40回という節目を迎え、諸先輩方から受け継いだ歴史の重みを改めて実感するとともに、次なる大きな節目へ向け、情熱を持って取り組んで参る所存です。

総会に引き続き行われた懇親会は、校歌斉唱から始まり、歌い終えた頃には、誰もが学生時代に戻ったかの様な和やかな雰囲気

気となり、どのテーブルでも昔話に多くの花が咲いていました。毎年恒例のお楽しみ抽選会では、歓喜と落胆の音が交錯しながら、盛会のうちに終了の時を迎えました。会場の外では次回総会での再会を期し、いつまでも別れを惜しむ方で溢れていました。来年もまた、会員の皆様の元気な姿にお会いできたらと願っています。

会長 徳田 徹(62期)記



芦屋東筑会 懇親会風景 第40回総会

岡垣東筑会

岡垣東筑会は昭和50年4月に発足し、今年度で42回の総会並びに懇親会を4月15日(土)にぶどうの樹(野々庵)で開催いたしました。

東筑高校同窓会から高山会長、東筑高校から中島校長、今任副校長をはじめ、近隣東筑会の北九州くきのうみ、水巻、芦屋、遠賀町、フレンドリー鞍手町、中間、宗像、岡垣と8地区東筑会の来賓、東筑会総会の当番期87期船元会長他6名の方々のご臨席



高山東筑会会長の挨拶 第42回岡垣東筑会総会

を賜り、会員と合わせて62名の出席者で会場は一杯となりました。

総会では前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、新役員(平山副会長)並びに今年度の事業計画案、収支予算案が提出され、原案通りに承認されました。

懇親会では、刀根顧問(39期)よりプレゼント付のクイズ大会が開催され、会場が大変盛り上がりしました。祝宴では、学生時代を懐かしんで思い出に花を咲かせ、どのテーブルも大変賑わっていました。

最後に校歌を声高らかに斉唱し名残惜しい中、閉会しました。

次回(平成30年4月21日(土)予定)もまた、皆様の元気な姿にお会いできることを楽しみに、もっと多くの同窓会に参加してもらえよう会の運営、発展に努めてまいります。 会長 深田高一(62期)記

遠賀町東筑会

遠賀町東筑会は昭和47年9月に発足し、今年で45回目の節目の総会を9月2日に迎えます。



第44回総会・懇親会 遠賀川公民館にて

遠賀町は北九州市に近接していることや交通の利便性の良さから、昭和40年代から大規模な住宅地の開発が相次ぎ、当会発足直前の昭和45年には9,368人だった人口が、平成12年には19,309人とほぼ倍増しています。まさに、町の発展とともに生まれ育ってきた会でありました。

町の東側を遠賀川が流れており、毎年5月下旬の土曜日・日曜日には九州朝日レガッタ・おんがレガッタが開催され、母校東筑のボート部をはじめ、九州各県の高校・大学・企業のクルーが一堂に会して非常に盛り上がり、遠賀町の初夏の風物詩となっています。

また、恵まれた水利を生かした農業が基幹産業ですが、古来より盛んだった稲作のほかフキやイチジクの栽培が盛んであり、近年では遠賀町産の材料を用いた「赤しそジュース」や「菜種油」などの特産品づくりに力を入れています。

会の主な活動は、①会報の発行、②総会の開催（9月の第一土曜日）、③会員名簿の発行（3年毎）です。

昨年の第44回総会・懇親会は、9月3日（土）に遠賀川駅前前の遠賀川公民館で開催いたしました。来賓として、高山東筑会会長、本校の花岡校長をはじめ、近隣地区東筑会役員の皆様にご臨席を賜りました。

また、当番期であります87期の皆様にはご挨拶だけでなく、受付・案内・接待などのお手伝いまでご協力頂きました。おかげさまで88名の皆様にご出席頂き、終始和やかな雰囲気の中で懐かしい思い出話に花を咲かせることが出来ました。記して深謝する次第であります。

今年の総会は、9月2日（土）18時半から昨年と同じく遠賀川公民館で開催いたします。たくさんの方とお会いできることを楽しみにしております。

会長 古畑善章（54期）記

中間東筑会

中間東筑会は、総会を2年に1回の開催としており、今年も開催いたします。平成30年、盛大に開催します。ぜひご参加ください。

日時：平成30年4月28日（土）
17時30分～ 総会
18時00分～ 懇親会

会場：なかもろセンターホール
事務局 船津喜久男（79期）記

フレンドリー 鞍手町東筑会

大人の社会見学 安川電機工場見学、門司三宜楼茶寮での昼食ほかツアー

フレンドリー 鞍手町東筑会の三大イベントは、5月の総会・懇親会、秋の日帰りツアー、そして会報の作成です。恒例となっています。秋の日帰りツアー、今年も「大人の社会見学、安川電機工場見



「三宜楼茶寮」宴席が終わって フレンドリー鞍手町東筑会

このあと『いのちの旅博物館』に立ち寄ったのち、出発地『くらじの郷』に帰り着いたのは5時をすぎたところ、こうして充実した一日が終わりました。

今年の会報もオールカラー版、12頁で作成しました。特集記事として『暁の松』の先輩方に折尾高等学校の思い出を綴って頂き、会員にお配りしました。

昨年度のもう一つの特記事項は、新規会員の募集運動でした。当会でも会員の高齢化がすすみ会員数は毎年減少傾向にありました。そこで役員、世話人でもって町内在住の卒業生を中心に加入勧誘をすすめ、24人の方々に新規加入頂きました。有り難うございました。これからも声掛けを続けていきたいと思っております。

事務局 梶栗浩二（69期）記

北九州くきのうみ東筑会

北九州くきのうみ東筑会で事務局を担当している82期の津上と申します。同会の末席役員として慣れないながらも、楽しみながら活動しています。

82期は当番期を終え5年ほど経ちましたが、今でも集まり始めた頃のことを思い出します。私は20年来Web業界に携わっているのですが、経過した年月ほどに平均年齢が高くなる業界において、自分の年齢なりの責任をもって仕事に当たっていると、いつの間にか胸襟を開き人と接することが少なくなっていました。また、同期はもちろん、同窓生と出会うことは減多にありません。地元に残る人が少ないのだからと、一人納得していました。

ところが、四半世紀ぶりに同期が集ってみるとどうでしょう。地元に残る人も少なからずおり、何よりも様々なフィールドで活躍する人たちが話ができる楽しさを味わうことができました。そして今は、北九州

つづいて門司へ移動、「三宜楼茶寮」での昼食となりました。戦前からつづくこの茶寮は、建設当時の門司の隆盛、賑わいを偲ばせるものでした。そして料理は何となくフグとフグ酒、皆さん堪能されたのではないかと思います。料理も見事でしたが、フグ酒のまわったメンバーを相手に和服姿の女将さんの応対もまた見事でした。宴席が終わって建物の由緒や欄間、天井など内装細工の詳細をこまごまと案内して頂

学と門司三宜楼茶寮の昼食ほか」でした。参加頂いたのは23名の方々です。最初に訪れたのは安川電機中間事業所でした。ここは操業開始してまだ一年、最新の大型ロボットの工場ですが、皆さん工場がそこにあることは知っていても、その内側を見るのは初めてのことでした。世界最先端の工場とはどのようなものか興味津々、好奇心旺盛な参加メンバーから突っ込んだ専門的な質問を受けて、案内役の女性スタッフが丁寧な説明を何度も繰り返して

くきのうみ東筑会を通じて、地域の同窓生の皆さんとの交流へと広がってきています。地域には私の知らない同窓生がまだまだたくさんいると思います。うまく皆さんと交流することができれば、悩みを解決し、仕事や人間関係がうまくいき、人生が豊かになるかもしれません。地域東筑会には、そのような力があるのではないかと感じています。

北九州くきのうみ東筑会では、もっと、もっとと会のことを知ってもらいたいとホームページを作成いたしました。アドレスは、<https://tochiku-kyzqa.jindo.com/>となります。

北九州くきのうみ東筑会が、特に11月の総会・懇親会が地元の地域東筑会として、多くの同窓生で賑わう交流の場となることを祈念し、私自身がその一助となるよう、少しずつ活動していきたいと思えます。

事務局長 津上正晃 (82期) 記

水巻東筑会

第16回平成29年度水巻東筑会総会・懇親会を、さる5月27日(土)に水巻商工会館で開催しました。母校および東筑会、近隣東筑会の来賓の方々のご臨席を賜り、会員と合わせ60名の出席者で会場は一杯となりました。

前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案どおりに承認されました。

懇親会では、学生時代を懐かしんで思い出話に花を咲かせ、どのテーブルも大変賑わっていました。最後に校歌を声高らかに斉唱し名残惜しい中、閉会しました。

次回もまた、皆様の元気な姿にお会いできることを楽しみに、もっと多くの同窓生に参加してもらえよう会の運営・発展に努めてまいります。

事務局長 友廣大祐 (90期) 記



第16回水巻東筑会総会 水巻商工会館にて

宗像東筑会

平成29年度の宗像東筑会総会・懇親会を4月9日(日)に例年通り玄海ロイヤルホテルにて開催しました。

当日は日曜日にもかかわらず、東筑会及び東筑高校、近隣地区東筑会の多数の来賓、東筑会総会の当番期(87期)の方々のご臨席を賜り、盛会裏に無事終了することが出来ました。

前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、新役員、並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案どおりに承認されました。引き続き行われた恒例の講演では、福岡俳句文学協会の幹事をしてられる今村尚敏氏(68期)より「俳句 即 人生(俳句の不思議な魅力)」と題して、俳句を詠

むことで国語力の向上、自分自身の教養のレベルアップができることなど、俳句の魅力について熱く語っていただきました。

また、懇親会では初めて参加された方にお話していただいたり、校歌を歌ったりして終始和やかな雰囲気で行うことができました。

さて、宗像東筑会の活動としては、今年の6月、宗像市主催の市民交流まつりにバザーの出店をしました。東筑高校の幟を掲げて地域活動に積極的に参加しております。また、秋には恒例の「宗像環境フェスタ」のリサイクルマーケットにも出店する予定にしています。ぜひ一度参加してみませんか。

最後に、この会報を「こらんになった宗像・福津にお住まいの東筑高校卒業のみなさん、年一回の総会・懇親会に是非ご出席いただき、よき時代を思い出そうではありませんか。」

ご協力宜しく願います。
事務局長 門司 剛 (63期) 記



俳句の魅力についての講演 今村尚敏氏(68期)

ひのくに東筑会

東筑会の皆さん、熊本地震に際してはお見舞いの電話や励ましのお言葉、多額の義援金など熊本の会員に心を寄せていただきありがとうございます。

街中はすでに表面上は片付けられ、全壊・大規模半壊の住宅等も8割方は更地になりました。一見何事もなかったかのごとく見えますが、地方や熊本城などはまだまだお城の復旧は20年以上かかるといわれています。未永く見守ってください。ただし、天守閣だけは平成31年度中には完成予定とのこと。

「ひのくに東筑会」のメンバーが県内に約80名ですが、このうち半壊3名、軽傷1名、一部損壊の罹災証明の方が20名とかなりの方が被災の届出がありました。



2年ぶりの総会ひのくに東筑会 ザ・ホテルニュー熊本

去る5月20日、二年ぶりの「ひのくに東筑会」総会を開催。上は50期から若い人はこの春卒業した115期まで多彩な顔ぶれで当日になって欠席の方も数名ありましたがそれでも22名が集い、久しぶりの交流を楽しました。

総会のあと、熊本大学法学部教授で法学部長の深町先生（72期）が「日本をめぐる国際法問題」と題して尖閣諸島や南シナ海の自由航行など日本が関係する国際問題を国際法の観点から考察、わかりやすい解説で昨今の関心事でもあり、みなさん熱心に拝聴しておられました。

懇親会では安田教頭先生（83期）の母校の近況報告を、夏の甲子園を頭に浮かべ胸を膨らませながら聞き入りました。

当番期の広渡副会長（87期）から6月の東筑会へのお誘いの言葉などいただきました。久しぶりにわざわざ天草から出席となった姫野さん（67期）の音頭で乾杯。

二年ぶりの会話もまず、被災の話から始まり、お互いの無事を喜びながら話が興にいったところで恒例の校歌斉唱、指揮は今年熊本大学入学の柿原君（115期文学部）に応援部OBの姿を見せてもらった。

散会後は二次会に行く人、帰る人それぞれに、来年の再会を期して別れました。

宮川薫臣（57期）記

北海道東筑会

北海道東筑会はこの春発足5周年を迎えました。この記念すべき総会・懇親会が去る5月13日（土）、札幌のサントリース・ガーデン呉（そら）で開催されました。北九州からご参加下さる予定だった小野晃東筑奨学会会長が急な公務のためいらっしやれなくなつたのは残念でしたが、当番期の87期船元幸徳会長が前日東筑ゴルフ大会だったにも関わらず、朝一番の飛行機で文字通り駆けつけて下さり、札幌近郊のみな

らず函館や旭川からも会員が集い、皆で北海道東筑会の5周年を祝いました。

総会では去年の行事報告と決算報告、今年度の行事予定と予算報告が滞りなく承認され、懇親会へ移りました。5年前に何の繋がりもなく初対面のメンバーで発足した北海道東筑会ですが、今は年に数回の集まりが会員の楽しみになっております。

去年は5月の総会・懇親会に始まり、暑い8月には札幌のシンボル、大通公園のテレビ塔下のピアガーデンでジンギスカン（7名参加）、雪の降る12月には体が温まる博多もつ鍋のお店で忘年会（8名参加）、3月には就職・転勤で北海道を離れる会員を見送る送別会（6名参加）と、季節ごとに集い、母校や故郷を懐かしく思い出しながら親交を深めました。

札幌という土地柄、進学・卒業・転勤などで会員が増えたり減ったりですが、今後は東筑会本部にもご協力いただき北海道大学の学生など若手会員も発掘したいと思っております。もし北海道在住（大学や転勤などで一時的でも）の同窓生を御存知でしたら是非事務局にお知らせください。また、懇親会やビール会、忘年会は北海道在住の方でなくても大歓迎です。旅行や出張で北海道にいらっしやることがあれば、是非事務局にお知らせください。「二人集えば東筑会」を合言葉に北の大地で集いましょう。

村上さやか（青山）（81期）記



5周年を迎えた北海道東筑会総会・懇親会

各 期 だ よ り

39期だより

東筑健児よ！同窓生よ！
如何に生くるか！！

我等39期生は今年94〜95歳となる。250人入学し、228人卒業する。現在大東亜戦争での生き残り約10人位かな？昭和18年、旧制大学在学中、学徒出陣し、沖縄特攻で散華した。京都大の旗生君、日本大学の本庄君、沖繩陸上戦で散った陸士の冷平田君、その他ビルマ等で壮烈な戦死をされた多くの学友の仰魂に心から深く深く御冥福を祈っています。

戦後72年、お互いどう生きて来たの？空爆と原爆の廃墟の跡から猛烈と立ち上がり世界経済2位（現在3位）にまでの上がりスバラシイ業績をあげてきた日本人でした。経済はどんなに発展しても、問題は、日本人一人ひとりの「心」が問題です。

ダグラス・マッカーサーが、日本を永久につぶすために、今の日本国憲法を押しつけ、第九条は世界百ヶ国どこにもありえない苛酷な、陸海空の軍隊は持つてはいけないと厳定している。（自衛隊は軍隊ではない）

国の交戦権は認めないとありますから、外敵が攻めて来たら、只々一方的に殺されるままといい実体ですね。日本人の皆さん！それでいいのですか？未だ日本は本島の独立国ではありませんですね。日米軍事同盟とは云うものの、日本人の命を守るのは多くのアメリカの青年が何万、何十万人犠牲になるといふ形になりませんが、いざという時、アメリカの議会が、大統領が、日本を助けるのでしょうか？

まあ戦後、何十人の日本の総理、

何百人の衆参国會議員、学職員、新聞、テレビ、ジャーナリスト達よ、あなた方は、一億二千万人の日本人の生命を、「ホッタラカシ」にして来ましたね。今もしていません。

マッカーサーが日本人の心を「トコトン」腐らせたね。日本人に、戦争をしたのは日本人が悪いからだという「自虐心」を徹底させましたね。「戦争は相互に理由があるのです」日本人の心の手足を完全に縛りつけてしまいましたね。大多数の日本人が、そのことを余り意識せず、只、ポカんと、戦後72年間、只ただ経済オンリーのみ生きて来ましたが、それで平和だ、平和を念仏のように唱えて生きて来ましたが、いくら勉強しても、日本人が日本という国をしっかりと自覚し、日本を本当に愛して、戦争という手段をなくして、世界人類を救う人間にならなければ「勉強」の意味はありませんね。東京大や、ハーバード大学や、ケンブリッジ大学に行くことだけが良いのじゃありませんですよ。単なる勉強で博士号をとる。会社の社長になるだけでいいのでしょうか。教育は「心」を作ることで、日本人として、背骨の通った人間となることです。只ただ平和を唱える「コスモポリタン（無国籍世界人）」「蒸留水のような無色透明人間になってはいけません」。

学問で世界人類を救いつつある日本人の一例を申し上げます。数十年うちに世界人類は百億人と云われています。食糧大飢饉が必ず来ます。食糧生産には肥料の大量生産が必要になってきます。それは窒素肥料の必要です。ドイツの2人の博士が、空気中に大量にある窒素からその固定法に成功したのが、生産に大変な価格がかかるので生産停止状態です。ところが日本の東京大学の西林准教授の研究により「モリブデン」を使って、低価格生産の道を開發致しました。スバラシイことですね。

世界人類のために、先端科学の学徒が、東筑健児、東筑同窓生の中から続々と出現

各 期 だ よ り

していくことを神に念じつつ39期生は応援している。

(幹事 刀根博愛 記)

50期だより

忘年会にぜひ参加を！

私達50期の元気な同級生8人(男女各4人)は、平成28年11月24日、北九州市若松区の「かんぼの宿北九州」に集まり、楽しい忘年会を開いた。

50期は日本が第二次世界大戦に敗れた翌年の昭和21年4月に、当時の国民学校6年生から旧制東筑中学と旧制折尾高女に入学した。

旧制東筑中学と新制東筑高の計6年間を、あの「一本松」を仰いで青春時代を送った仲間なので、団結力ほどの先輩各位にくらべても、一番強固だと自負している。

あの頃、日本陸軍航空隊基地があった遠賀郡芦屋町に進駐して来た米空軍部隊の将校夫人(複数)が先生になり、東筑



50期有志による忘年会…かんぼの宿北九州にて

にESS(英会話教室)が作られ、生きた米語が学習できた。

これには、芦屋町に住んでおられた英語担当の安高先生の御尽力があった、と確信している。

50期生は昭和8年生まれ、今年で満84歳になる。高齢化のため50期会は、平成23年に解散して現在に至っている。

しかしながら、皆元気なので、今年も11月旬に「かんぼの宿北九州」での忘年会を予定している。ふところ具合に余裕の有る方も無い方も、多数参加されるよう、念願している。

(高崎剛夫 記)

54期だより

傘寿記念の山陰旅行

54期は5月23日〜26日、山陰に出かけました。参加者は36名、50名の目標には遠いものでしたが、すでにみんなの思いは、消すに消せず、実行に移されました。両備バスをチャーターして、運転手さん、ガイドさんと同じ宿に泊まりながら巡った山陰の4日間は、お茶の間をそのまま移動したような、落ち着いた寛ぎの時を過ごさせてくれました。

岡山から鳥取砂丘へ。十万年の歳月が集めた広大な砂の山を目前に、一点の存在に過ぎない自分を見つめ直したことでした。皆生温泉泊。翌日、水木しげるロードの妖怪と会って、足立美術館へ。まず掃き清められた砂と、見事に刈りこまれた松の庭園が目にとび込んできました。美術品を鑑賞しながら、窓外にも自然のもう一幅の絵。こんな美術館は初めてで大感激でした。

国宝松江城の見学は、急な階段を登れる健脚組と、堀に浮かんでゆらゆら見学組とにわかれてきました。が、ゆらゆら組も低い橋の下では、通り過ぎる間、平身低頭をさせられ大変でした。松江藩歴代の墓所月照寺



傘寿記念の山陰旅行 足立美術館にて

では頭をなでると長生きできるという大亀の寿蔵碑が、人気を集めていましたよ！

裏日本と軽視されがちな山陰ですが、出雲大社では近年、巨大な宇豆柱が発見されて話題をさらっていますし、世界遺産の石見銀山あり、鉄を生み出したたら師たちの集落吉田町あり、つきない魅力をもつ地方だと再認識しました。高層ビルの林立もなく、緑が豊かで、大木の棟がそこそこに紫の花を広げ、空木が愛らしいピンクの花を添える魅力いっぱい自然の中、渋滞もなく、ガイドさんの名調子を聴きながら、ふと居眠りをしてしまったりして、のどかな時を過ごしました。ケガも病気もなく万ーのための救急薬は大恥をかき、4日間ずっと好天に恵まれて、傘の出番などまるでないすばらしい傘寿の旅行となりました。

(北島弘子 記)

57期だより

7月11日から16日まで、黒崎市民ギャラリーで「57期喜寿の文化祭」を行いました。40名の同期生が120点以上の展示品を飾りました。オープンセレモニーには、東筑会前幹事長長野様の祝辞を頂き、期間中には中島校長先生をはじめ、三原・緒方両代議士など沢山の同窓生の方々に来場頂きました。入場者数は723名で目標を上回り、おかげさまで盛況に終える事が出来、本当にありがとうございました。

77歳で自分たちの作品展をやるう、との声が出て、期役員会で文化祭実施を決めたのは2年前でした。世話人会を発足させ、場所の検討を始めると共に、展示作品の提出を呼び掛けました。

画廊や東筑会館など五・六か所の候補が挙がりましたが、交通の便利の良いコムシティーを昨年12月に申し込みました。厳しい抽選の結果、使用許可が決まったのは今



7月11日長野前東筑会幹事長、小野東筑奨学会理事長をお迎えして開会

年4月になっていました。

作品を書道・写真・絵画・詩歌・陶器・人形・茶道などに区分けして全体を進行させました。出展作品が決まり、出展目録の作成が本格的になったのは本番一か月前で、展示場所の設定は最後の作業でした。

東筑色が強すぎたのか、入口で「東筑卒業生ではないですが、入ってもよいですか？」と聞かれたり、東筑以外の友人には57期の意味が解らないようでした。

57期は例年6月と1月に懇親会を、10月に同期会報(16頁)を発行し、情報交換を行っています。最近参加者がやや固定化していましたが、今回の文化祭には久しぶりの人が沢山来て、今後の期活動の起爆剤になるように感じました。ただ、今回の行事に参加できなかった人の中には、病氣と闘っている方が沢山いて彼らの作品も出品出来れば元気づけになったと思いたい大変残念です。この歳になり一致団結して無事「文化祭」を終えて同期生の絆を強く感じました。

また、後輩で「我々の期も」との声があるそうで、今回の57期の行事が、今後の東筑同窓会全体の活動の刺激になるのであれば、大変うれしく思います。

(二村泰稔 記)

61期だより

第22回温泉ぶらり旅

昨年より今年にかけて11名の仲間が黄泉の国へと旅立って行った。この年齢になると避けて通れない現実である。何とか彼等の分迄長生きをして、みやげ話をたくさん届けたいと思う。

4月19日晴天の中、宿泊先の送迎用のバスで総勢22名、水巻の「竹の子」を9時半に出発。遠賀川の土手沿いを南下。いつもの差し入れの缶ビールが早速配ら



筑後川温泉「桑之屋」にて

れ、あちこちで話が盛り上がる。上機嫌でしじみの里道の駅「おうとう」に到着。総工費1億円のトイレで暫し休憩、小石原へと向かう。

行者杉を見上げながら森林浴を楽しみ、近くの「惣助」で山菜料理に舌づつみ。峠を下り、初めて立ち寄る「いぶき館」で、高倉健と伊藤伝右衛門、白蓮の資料展示の説明を聞きながらじっくりと見学する。

早めに本日の宿、筑後川温泉「桑之屋」に到着。準備をし河川敷のパークゴルフ場へ集合する。皆さん初めてなので楽しみで来たりで苦労した。2時間程楽しんだ後、温泉で汗を流し楽しみな宴会が始まる。昼間、汗を流したおかげでビールの美味しい事!

カラオケに興じる者、おしゃべりに夢中な者。日頃の憂さを晴らし終えてみれば、大変なお酒の量に幹事としてはドキドキも

のだった。翌朝は川辺を散歩したり、温泉に入ったりゆつくりとした時の流れに心が洗われた。朝食後、楽しみにしているキリンビール工場に向かう。見学のごほうびに3種類のビールを飲み大満足。最後の立ち寄り先「大刀洗平和記念館」を訪れる。真先に目に入ったのが実物の零戦の姿だった。説明によるとこの地からも特攻出撃を多くの若者が命を落としたりと多。又、この飛行場は壊滅的被害を受け多くの人々の命が失われたようだ。平和の大切さを痛感し、この地を後に無事水巻に帰還。

(幹事 古賀正博 記)

66期だより

長門市湯免温泉への旅

二年ぶりの66期温泉同好会の旅は、山口県長門市の湯免温泉に決まりました。昨年10月12日に、いつも通り貸し切りバスを使って北九州を出発し、関東から参加したメンバーを含め、14名で行ってきました。旅の途中で、山口県西部の各所に立ち寄り、小野茶の茶摘み体験、水のきれいな弁天池



「辺鄙な温泉」を楽しんだ66期の旅行

CNNの「日本の最も美しい場所31選」に選ばれた元乃隅稲荷、角島、川棚のくすの森など、たくさん場所を楽しみました。川棚名物瓦そばも食すことができました。残念なことに、旅行会社「辺鄙な温泉」という注文を付けていたため、宿泊した湯免温泉の周囲には二次会でカラオケを楽しめる場所がなく、参加メンバーの一部から不満の声も上がりました。その代り、夕食後は皆で一部屋に集まり、お酒を酌み交わしながら、長時間いろいろと語り合うことができたことは良かったと思います。帰りに立ち寄ったりフレッシュパーク豊浦は、コスモスの花が盛りを過ぎていたが、渡りをする蝶として有名なアサギマダラが集まっており、じっくりとこの蝶を観察することができました。我々も仕事に就いているメンバーが少なくなってきましたので、休日を選んで旅行日を設定する必要が無くなりました。今回の旅行もウイークデイに設定しましたので、立ち寄ったどの場所も観光客で混み合うことがありませんでした。来年は、行き先を変えて、どこかに旅行することを決めて解散しました。

なお、昨年1月から休止状態となっていた66期同好会のホームページを別のサイトで再開し、遠隔地にいる同期生を含めてホームページの再開を案内しました。同期会行事のアナウンスを行うとともに、今までの同期会や同窓会の様子などを掲載しています。

(幹事 加末久幸 記)

69期だより

同窓会「東筑69期会」を永く主宰された安永弘法氏が平成29年7月に亡くなられました。折尾の安永文具店と言えはご存知だと思います。また柔道部で平田龍司さんと共に活躍され、学校の内外にわたる数々のエピソードや憎めない



笑顔は忘れることができませぬ。心よりご冥福をお祈り致します。

65歳を迎えますと身体に何の不都合も抱えない方が珍しいのですが、現代ではいくつかの病を経ながらも何も無かったかの様に寿命を全うすることは難しくありません。異変を感じたら早めに身近の医師に相談すると良いのかも知れません。幸いにも最近では母校から多くの卒業生が医師を目指し、県内の有力病院で活躍していて力強いことです。東筑会の皆様はそうした意味では極めて恵まれた境遇においでになるのです。

最近では80歳が普通のこと、白寿の声も稀ならず、さらにはヒト寿命の限界は120歳という研究もあります。「親の亡くなった70歳まで生きれば自分には十分だ。」とか「80歳まで生きていたら本望だ。」などと言って酒タバコの不健康な生活を続けていると、いつのまにか人生90年時代に到達して、80歳から後の10年間に不本意な健康状態を強いられるかもしれません。清く正しくとは申しませんが、遅くはありませんから今からでも生活の見直しをされてはいかげでしょうか。この様な嫌ごを旧折尾東筑会の宴会前に2回ほどお話しし不興を買いましたが、旧友の訃報に際して思いを新たにしました。

(代表 末吉信之 記)

70期だより

21年ぶりの甲子園

一瞬の静寂、東筑高校のセンター、背走に背走を重ねフェンスに向かってジャンプ。

5万の観衆の大歓声。第99回甲子園大会を代表する超ファインプレーで21年ぶりの東筑高校甲子園の逆転劇は始まった。よく野球は筋書きのないドラマだとよく



21年ぶりの甲子園と夜の懇親会

言われるが誰が予測できたろうか、逆転直後の降雨による一時間半の中断を。試合には敗れたが、賞賛に値する素晴らしい内容で、多くの感動があった。とりわけ、アルプス席で一つの傘に3人入り、全身ずぶぬれになった体験は、同期の絆をさらに深めた。

試合直前の土曜日、同期川端君が経営する黒崎「香味家」で、同窓による必勝祈願同期会が開催された。その席上で急遽決まった甲子園応援。この決断の軽さと速さが70期らしいと感心した。試合当日、新幹線の車中でのラインとメールの応酬。そして、憧れの甲子園で世代を超えて、同窓生が一体となって校歌や応援歌を歌った体験。全てが一生の思い出……。後は、お決まりの懇親会。関西東筑会の幹事長小川君のお世話で、関東、関西、九州在住の同期が集った。その席上で、東京東筑会の同期である結城君の発案で、65歳の古希準備旅行が提案された。旅行まで、まだ2年ある。まだまだ老けるわけにはいかない。今はただ、母校東筑高校野球部に感謝である。この原稿を書いている今も、甲子園の余韻が抜けない。

(柴田晴夫 記)

71期だより

植生先生の一年ぶりの授業と71期会

授業と71期会

恒例の植生先生の授業も10回目を迎え、今年は大和物語が教材に選ばれました。これは平安時代中期の「夢物語」と言われる物語の一分野で「伊勢物語」「大和物語」「平仲物語」の三作品が現存しています。作者は在原滋春や花山院などの説がありますが、不詳とのこと。

講義は156段の「姥捨山」について詳しい解説がなされました。今回も植生先生は絶好調で豊富な知識から繰り出されるお話しにあつという間の2時間でした。

東筑会の懇親会では、年々新しい方の参加がみられ、昔の話、今の話、将来の話など多方面にわたって会話が弾みました。続いて黒崎に場所を移して、71期の同期会が始まりました。こちらにも、本当に久



植生先生の授業がおわってハイポーズ!

しぶりの方々が多数参加して下さり、会場に熱気、談笑の輪が充満しました。

71期は6月に北九州で、秋に福岡で同期会を行っています。これからも多数の方々の参加をお待ちしております。

「71期は面白いことをやっているね。」
「いいことやね。」というお言葉を他の期の方々からいただけることがあります。

これも毎回古典の授業をして下さる植生先生、林事務局長、パンフレット作成の三橋さんを始め71期の役員の方々、さらに毎年参加して下さる同期生のご協力の賜物と心から感謝しております。

これからも一人でも多くの方の参加をお待ちしております。

あの時に戻って大いに語り明かし、飲み明かし、歌い明かそうではありませぬか！
(会長 三宅正輝 記)

76期だより

中島君、東筑高校校長就任おめでとう

校長就任おめでとう

3月末、ビッグニュースが飛び込んできました。「中島君が東筑の校長になる」と。76期生にとっては、一大事です。それから数日間、お祝いメッセージやスタンプが並び、ライン上は大騒ぎになりました。早速「6月10日の東筑会では盛り上がりましょう」というメールも。

そこで、76期生・中島君の高校時代について、当時を知る友だちに聞いてみました。香月方面からのチャリ通。毎朝、遅刻ギリギリで駆け込んで来ていたそうです。穏やかなキャラで、みんなからは、「ちゅうとう」「ちゅうとう君」と呼ばれていました。「なかしま君」と呼ぶ人の方が少なかったと思います。水泳部に所属、北九州地区優勝の実績もあると聞いています。一時期はプラスバンド部に入り、野球部の応援でパーカッションを担当したこともあつ

関西東筑会の当番期を終え、そのまま

78期だより 55歳の修学旅行

たとか。進んで女子に話しかけるタイプではなく女子の名前もあまり知らなかったみたいです。

勉学はと言えば、国語にはかなり精通していたらしく、大学時代には日本語のルーツを追って、インドに留学するなど、アグレッシブに学問に取り組んでいました。国語の白石純一郎先生からも、絶大な信頼を受けていたようです。数学や物理の時間はどこにいるかわからなかったらしいですが……。

2017年は、中島良博君の東筑高校校長就任という、私たちにとって特別な年になりました。諸先輩方、後輩のみなさん、中島校長をどうぞよろしくお願いいたします。(幹事 竹内容子 記)



中島君をかこんで(後列左から4人目)



東筑高校78期修学旅行 in 別府 2016年9月17日 於 別府ホテル白菊

淡路島で50歳の修学旅行を楽しんでから約束した5年目の昨年、42名で別府へ行ってまいりました。

旅程を決めるために、幹事3名で下見に行った4日後に熊本大分地震が起こり、一時は目的地の変更も考えましたが、被災地支援を兼ねて予定どおり決行したところ、結果的にふっこう割の恩恵を受けられてラッキーでした。

12時過ぎに小倉駅で関西組が合流した大型バスのナンバーはなんと78番。

車内で東筑軒のかしわめしを食べながら北九州空港で関東組も合流し、歓声に沸くバスは一路別府へ。

久しぶりの再会。思い出話に花を咲かせながら、龍巻、血の池、海地獄を巡りました。

宿泊はホテル白菊。温泉で汗を流してさっぱりした後はお待ちかねの宴会タイム。まずは写真屋さんによる記念撮影。ひとしきり会話がはずんで宴もたけなわの頃、シヨータイムがスタート。

85期だより

来年5月26日は京都に集合

5年前はスリーディングリーズでしたが、今回は懐かしのゴールデンハーフ。金髪のカツラに衣装は笑えるちようちんブルマにしてみました。

「黄色いさくらんぼ」でステージと宴席が一体となった後はカラオケルームで盛り上がり、別府の夜は楽しくふけていきました。

翌日はうみたまご(大分マリンパレス水族館)へ。イルカやアザラシのシヨを見学してから大分名物地鶏の炭火焼ランチで乾杯。名残はつきないけれど、5年後の還暦旅行を楽しみに北九州空港で関東組、小倉駅で関西組とお別れし、抱腹絶倒の2日間は無事幕を閉じたのでした。(原田美穂 記)

北九州と東京で84期の先輩から受け取った当番期の襷を86期に渡して2年。まだ先の話だと思っていた関西当番期がいつの間にか来年に迫って来ました。いよいよ当番期最後の務めです。

この年齢で当番期を迎えるというこのシステム、そして北九州と東京の当番期を頑張ってくれた同期のおかげで3年前には想像も出来なかった先輩や後輩そして同期達との交流が生まれました。そして、少し時間をおいて巡ってくる関西当番期。本当に絶妙なタイミングであると改めて感じます。数少なかった関西在住85期も年々人数が増え、今年の5月20日に大阪ガーデンパレスで行われた総会・懇親会では、他地域からの応援も含め同期18名で当番期の法被を受け取ることが出来ました。当番期最後の仕事に向け、関西85期一同頑張っ、しかし楽しみながら準備を進めて行こうと思っておりますので、諸先輩方および後輩の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



来年は関西当番期 当番期の法被を受取る

103期だより

東筑会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。早速ですが、私たち103期生の近況をご報告致します。私たち103期生は去る

ろしくお願いたします。

過去15年程の記録を見る限り、甲子園で開催した昨年を除きずっと大阪で開催されてきた関西の総会・懇親会ではありますが、来年は私達当番期の希望で、京都で開催させていただくこととなりました。5月26日(土)。多数の方々のご参加をお待ちしております。

全国の85期のみなさん、来年の関西当番期と「50歳の京都修学旅行」を共に楽しみましょう。みなさんの顔を見ることが出来るのを楽しみにしています。来年5月26日は京都に集合です。(竹下宏樹 記)

**これからの東筑会の情報は
ウェブサイトでチェック!!**



- 必要な情報はプリントアウトで即保管。
- 懐かしい校歌や一本松や正門を掲載。
- 場所もスグに確認できる、お問合わせアクセス。
- 同窓会期リンク集を掲載。

www.tochikukai.jp

新住所を事務局へご連絡ください

☆住居表示に変更・改姓・転居された方

*個人情報保護の観点から会員個人情報は適切に管理し、正確性・安全性の確保に努めます。

事務局 Tel 093-603-6815 Fax 093-603-6820
E-mail tochiku_k@ybb.ne.jp (担当 藤澤)

2017年1月2日に8年ぶりに同窓会を開催いたしました。当日は80名を超える同級生に加え、在学中に大変お世話になった先生方も駆けつけてくださいました。大変な盛り上がりそのまま、あつという間に会は進行し、出席者の皆さんが笑顔のまま帰路につけたのは発起人としては大変嬉しく思います。出席者の中には卒業以来の再会を果たした者もおりましたが、卒業後にそれぞれの道を歩み、全国各地に散り散りとなっていた私たちが、このように盛り上がったのは「東筑高校で過ごした3年間」が充実した日々だったからこそだと改めて実感いたしました。今回の同窓会をきっかけに、新たに同級生同士で定期的に交流する場を設けた事例も出てきており、今回の同窓会が103期生の繋がりを強固なものにする良いきっかけになったと考えております。今後も、お互いに切磋琢磨しながら、それぞれの場でより一層活躍することを目指して頑張ってください。

(幹事 山下浩平 記)



80名余が集、繋がりを強固に103期

編集後記

おかげをもちまして、会報38号が発刊の運びとなりました。紙面作成に協力いただきました関係の皆様方には、心から感謝申し上げます。

特に今年度は、野球部が福岡県代表として、第99回全国高等学校選手権大会に21年

同窓生の皆様へ 事務局より

同窓生の皆様方には、日頃から同窓会事務につきまして、いろいろとご支援ご協力をいただきありがとうございます。

今年度は21年ぶりの甲子園出場という快挙に対しまして、早々に皆様方の温かいご支援をいただき、東筑高校同窓会組織のすばらしさを改めて認識いたしました。しかしながら一方で、当事務局から発送した「趣意書」や「お礼状」が届かずご迷惑をおかけした方もたくさんおられ大変申し訳なく思っております。

「趣意書」につきましては、発送元とも十分協議し未着防止に向け努力していきたいと思っております。

「お礼状」につきましては、原因として銀行振込の場合、文字がカタカナで、字数にも制限があるため、同姓同名の方がおられたり、住所から入力されたため卒業期や名前まで印字されず、振り込みいただいた方が特定できなかったこと等が考えられます。その他、住所変更届がなされていない場合もあり、結果、お礼状を出すことができず、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

またこれからも春の選抜や夏の大会、そして他クラブの全国大会等もございまして、銀行振り込みの場合は、**卒業期と氏名のみ**の入力をしていただくとともに、転居された場合は郵便局だけでなく、同窓会事務局の方にもご連絡をよろしく願っています。

ぶりに出場するという快挙。同窓会を含め、東筑全体で「熱い夏」となりました。甲子園大会終了後も、NHK全国放送で特集番組として取り上げられ、学校、地域、同窓でも明るい話題となっています。東筑パワーを改めて実感している所です。本誌にも甲子園出場の関連した特集記事も掲載していますので、是非一読ください。

さて、旅好きな私の今年は、国内旅行に集中。中でも、熊野古道ウオーク、四国八十八ヶ所巡り、富士山登山、宮島弥山ウオークは、人生初めての体験でした。少なからず驚いたことは、外国人観光客の多さです。これは、国内の有名主要都市や観光地だけの話ではありません。欧米人達のお遍路姿での巡礼、山深い紀伊山地の熊野古道を歩くロンドンの若者達、JR青春18切符を使って普通列車で家族旅行を楽しんでいるご家族連れ、宮島の弥山山頂で絶景を堪能されているヨーロッパのご家族連れや若者達等、様々な出会いがありました。日本を大いに楽しまれている彼らと話してみると、「日本文化や歴史、自然」「日本人の優しさと親切心」「清潔さ」という印象を話されてきました。その基盤には、「日本は安心して旅ができる筆頭の国」と言うことらしく、これは嬉しい限りです。この美しさあふれる日本にもっと自信を持ちたいものです。

最後になりましたが、来年は東筑高校創立120周年の節目の年です。記念行事の他、記念誌発刊も予定されています。東筑会や東筑高校の前向きで元気な姿を、皆様方に発信していければと強く願っています。東筑のよき話題や資料等がありましたら、事務局までお知らせください。今後共、会報委員4名で力を合わせ、「読みやすく、活力ある『東筑会報』づくり」に力を入れていく所存です。会報作りへの多大なご支援・ご協力、ありがとうございます。深く感謝申し上げます。

会報委員長 青野元昭 (70期)